

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150566011001	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	日本国憲法		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小林 寛		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小林 寛		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小林 寛		
科目分類 / Class type	教職免許科目・その他 , 人文・社会科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟21		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hkoba@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	406		
担当教員TEL/Tel	095-819-2725		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日午後3時~5時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本国憲法において保障された個別の基本的人権を取り上げつつ、日本国憲法の基本原理の一つである基本的人権の尊重の理念を理解できることをねらいとします。		
授業到達目標/Goal	基本的人権の尊重の理念、個別の基本的人権の内容や限界、及び具体的事例について理解・分析し、これを自らの言葉で説明できるようになることを到達目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	通常の講義形式により授業を行います。適宜発問するなどして理解を確認します。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、日本国憲法において保障されている基本的人権の原理・内容・限界等について講義を行います。本授業では、基本的人権を中心的テーマとしますが、それに限定せず、立憲主義・憲法史・統治機構等についても可能な範囲で言及する予定です。また、過去の具体的事件を取り上げつつ講義を行う予定です。ただし、以下に掲げるのはおおよその予定であり、解説の追加等により、適宜変更される場合もあります。		
キーワード/Key word	人権尊重主義、平和主義、国民主権原理		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書：大隅義和・大江正昭編『憲法学へのいざない第2版』（青林書院、2012年） 参考書：芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法第五版』（岩波書店、2011年）		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験（90%） 授業への積極的な取り組み状況（10%）		
受講要件(履修条件)/Requirements	日本国憲法に関心のある学生の受講を期待しています。		
学生へのメッセージ/Message for students	憲法を含む法律科目に興味・関心を持って頂けたら有難く思います。憲法を勉強して、我が国は法治国家であることを理解出来るようになりますように。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション・立憲主義の概説		
第2回	憲法史の概説		
第3回	日本国憲法の基本原理		
第4回	基本的人権の原理と限界		
第5回	包括的基本人権		
第6回	法の下での平等		
第7回	精神的自由権		
第8回	精神的自由権		
第9回	精神的自由権		
第10回	経済的自由権 特別講師 中西先生		
第11回	経済的自由権		
第12回	人身の自由・国務請求権・参政権		

第13回	社会権
第14回	統治機構の概説
第15回	統治機構の概説
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150566011002	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	日本国憲法		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池谷 和子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	池谷 和子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	池谷 和子		
科目分類 / Class type	教職免許科目・その他 , 人文・社会科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館609研究室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Goal	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けさせること。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義+レポートの作成		
授業内容/Class outline/Con	1 オリエンテーション 2 憲法の基礎 3 国民主権と天皇制 4 平和主義 5 基本的人権の基礎 6 包括的基本権と法の下での平等 7 精神的自由権 8 精神的自由権 9 経済的自由権 10 人身の自由・国務請求権・参政権 11 社会権 12 国会 13 内閣 14 裁判所 15 財政・地方自治・憲法保障		
キーワード/Key word	憲法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	・教科書: 芦部信喜『憲法第五版』岩波書店 ・六法(出版社は問わない)も持参すること		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価		
受講要件(履修条件) / Requirements	4/5以上の出席が必須		
学生へのメッセージ/Message for students	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等)をし、自ら日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、レポートが書きやすくなります。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150566011003	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	日本国憲法		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子		
科目分類 / Class type	教職免許科目・その他, 人文・社会科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー / Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています		
授業到達目標 / Goal	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は誦んじていただくことを期待します		
授業方法(学習指導法) / Method	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています		
授業内容 / Class outline / Con	まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、必ず入手して下さい		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	日本国憲法の条文を各自用意して下さい(103条しかありませんから、コピーしてもらいたいたことはありません) 裁判例についてはこちらで用意します		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	判例や条文に関する試験を実施します		
学生へのメッセージ / Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とはなにか、憲法と他の法律との関係		
第2回	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)		
第3回	平和主義 (憲法9条、沖縄)		
第4回	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)		
第5回	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)		
第6回	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)		
第7回	表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)		
第8回	経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)		
第9回	人身の自由 (適正手続きとは、死刑制度について)		
第10回	社会権 (生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権)		
第11回	国務請求権と参政権 基本的人権の限界 (公務員、外国人、私的關係)		
第12回	立法 (国会の二院制は必要か、一票の重みの格差)		
第13回	行政 (議員内閣制、行政の肥大化)		

第14回	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
第15回	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150566011004	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	日本国憲法		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子		
科目分類 / Class type	教職免許科目・その他, 人文・社会科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー / Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています		
授業到達目標 / Goal	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は誦んじていただくことを期待します		
授業方法(学習指導法) / Method	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています		
授業内容 / Class outline / Con	まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、必ず入手して下さい		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	日本国憲法の条文を各自用意して下さい(103条しかありませんから、コピーしてもらいたいたことはありません) 裁判例についてはこちらで用意します		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	判例や条文に関する試験を実施します		
学生へのメッセージ / Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とはなにか、憲法と他の法律との関係		
第2回	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)		
第3回	平和主義 (憲法9条、沖縄)		
第4回	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)		
第5回	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)		
第6回	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)		
第7回	表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)		
第8回	経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)		
第9回	人身の自由 (適正手続きとは、死刑制度について)		
第10回	社会権 (生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権)		
第11回	国務請求権と参政権 基本的人権の限界 (公務員、外国人、私的關係)		
第12回	立法 (国会の二院制は必要か、一票の重みの格差)		
第13回	行政 (議員内閣制、行政の肥大化)		

第14回	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
第15回	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150566011005	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	日本国憲法		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池谷 和子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	池谷 和子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	池谷 和子		
科目分類 / Class type	教職免許科目・その他, 人文・社会科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部 of 学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kazukeya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部本館 6 0 9 研究室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日の 4 校時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標 / Goal	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けさせること。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義 + レポートの作成		
授業内容 / Class outline / Con	1 オリエンテーション 2 憲法の基礎 3 国民主権と天皇制 4 平和主義 5 基本的人権の基礎 6 包括的基本権と法の下での平等 7 精神的自由権 8 精神的自由権 9 経済的自由権 10 人身の自由・国務請求権・参政権 11 社会権 12 国会 13 内閣 14 裁判所 15 財政・地方自治・憲法保障		
キーワード / Key word	憲法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	・教科書: 芦部信喜『憲法第五版』岩波書店 ・六法(出版社は問わない)も持参すること		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価		
受講要件(履修条件) / Requirements	4/5以上の出席が必須		
学生へのメッセージ / Message for students	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等)をし、自ら日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、レポートが書きやすくなります。		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 6
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150566011006	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	日本国憲法		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子		
科目分類 / Class type	教職免許科目・その他 , 人文・社会科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー / Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています		
授業到達目標 / Goal	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は誦んじていただくことを期待します		
授業方法 (学習指導法) / Method	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています		
授業内容 / Class outline / Con	まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、必ず入手して下さい		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	日本国憲法の条文を各自用意して下さい (103条しかありませんから、コピーしてもらいたいたことはありません) 裁判例についてはこちらで用意します		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	判例や条文に関する試験を実施します		
学生へのメッセージ / Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とはなにか、憲法と他の法律との関係		
第2回	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)		
第3回	平和主義 (憲法9条、沖縄)		
第4回	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)		
第5回	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)		
第6回	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)		
第7回	表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)		
第8回	経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)		
第9回	人身の自由 (適正手続きとは、死刑制度について)		
第10回	社会権 (生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権)		
第11回	国務請求権と参政権 基本的人権の限界 (公務員、外国人、私的關係)		
第12回	立法 (国会の二院制は必要か、一票の重みの格差)		
第13回	行政 (議員内閣制、行政の肥大化)		

第14回	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
第15回	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150568003001	科目番号 / Subject code	05680030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	物理科学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 良信		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 良信		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 良信		
科目分類 / Class type	自然科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育 B 棟44		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ymat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	工学部 2 号館E509		
担当教員TEL/Tel	095-819-2540		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>自然の成り立ちや振る舞いを理解するだけでなく、日常生活を送る中で物理学の知識は欠かせない。社会生活における状況の理解・判断においても、ものごとを論理的に考え、的確に表現することは非常に重要である。物理学を学ぶことにより、私たちは論理的な思考法や抽象的な概念を用いた表現法を身に付けていくことができ、物事の本質を見抜く目を養うことができる。</p> <p>本科目は理科教員として必要な物理の最低限の知識を身につけるための科目である。</p>		
授業到達目標 / Goal	物理学が実に豊かな広がりを持ってこの世界の中に存在していること、私たちの身の回りの事柄に深く関係していることを理解し、基本的な数学を用いて個別の具体的な物理問題を解くことができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義に演習を織り込みながら、授業を行う。必要最小限の物理学リテラシーとして、広くて豊かな物理学の世界をできるだけ分かりやすい形で提示する。内容としては力学と電磁気学を中心とする古典物理学に焦点を絞る。		
授業内容 / Class outline/Con	<p>授業内容 (到達目標)</p> <p>1 回目 力学(速度、加速などを理解する)</p> <p>2 回目 力学(運動方程式などを理解する)</p> <p>3 回目 力学(仕事、ポテンシャル、エネルギーなどを理解する)</p> <p>4 回目 力学(運動量、角運動量などを理解する)</p> <p>5 回目 力学(剛体の運動、慣性モーメントなどを理解する)</p> <p>6 回目 力学(変形する物体の性質などを理解する)</p> <p>7 回目 力学(力学全体の総括)</p> <p>8 回目 電磁気学(電流、ジュール熱、抵抗、電気回路などを理解する)</p> <p>9 回目 電磁気学(電荷、電場などを理解する)</p> <p>1 0 回目 電磁気学(電位などを理解する)</p> <p>1 1 回目 電磁気学(誘電体、キャパシタ、電気双極子などを理解する)</p> <p>1 2 回目 電磁気学(電流と磁場、磁束密度、アンペールの法則などを理解する)</p> <p>1 3 回目 電磁気学(電磁誘導、インダクタンスなどを理解する)</p> <p>1 4 回目 電磁気学(Maxwellの方程式、電磁波、光の性質などを理解する)</p> <p>1 5 回目 電磁気学(電磁気学全体の総括)</p> <p>1 6 回目 定期試験</p> <p>(ホームワーク) レポート課題については授業中に指示する。</p>		
キーワード / Key word	力学、電磁気学		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書: 阿部龍蔵著, Essential 物理学 (サイエンス社、新物理学ライブラリ別巻1) ISBN4-7819-1028-9</p> <p>参考書: 大学教養レベルの物理テキストなら何でも良いので、授業と平行して複数冊を読むと良い。</p>		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	積極的参加状況と演習課題 (30点) および最終試験 (70点) の合計で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		

学生へのメッセージ/Message for students

全回出席を原則とする。やむを得ず欠席する場合は事前に電子メールで担当教員に連絡すること。板書と演習を中心に授業を行うので、講義ノートをしっかり作ってください。内容を理解するコツは、とにかくたくさん書くことです。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569000701	科目番号 / Subject code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	解放講座		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	阿南 重幸		
科目分類 / Class type	総合科学科目, A科目群 総合科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	学外非常勤講師		
担当教員TEL/Tel	09045868939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業到達目標/Goal	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式		
授業内容/Class outline/Con	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、長崎の被差別部落をキリスト教、原爆との関連において取り上げる。		
キーワード/Key word	知識・態度・技能		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。ビデオ等を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 70 出席 30		
学生へのメッセージ/Message for students	正確な知識を身に付けるようにしてください。また、毎回配布の資料等はファイルにとじて、持参するようにお願いします。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月8日 今なぜ人権教育か? 「私たちの町再発見」(1) (阿南重幸)		
第2回	4月15日 今なぜ人権教育か? 「私たちの町再発見」(2) (阿南重幸)		
第3回	4月22日 部落問題 ウソ?ホント?(阿南重幸)		
第4回	5月13日 日本の近代化とアイヌ問題(1)(阿南重幸)		
第5回	5月20日 日本の近代化とアイヌ問題(2)(阿南重幸)		
第6回	5月27日 在日朝鮮人ってどんな人?(1)(阿南重幸)		
第7回	6月3日 在日朝鮮人ってどんな人?(2)(阿南重幸)		
第8回	6月10日 ハンセン病と差別(1)(阿南重幸)		
第9回	6月17日 ハンセン病と差別(2)(阿南重幸)		
第10回	6月11日 教科書に見る部落問題(1)(阿南重幸)		
第11回	6月24日 教科書に見る部落問題(2)(阿南重幸)		
第12回	7月1日 これぞ不平等?(阿南重幸)		
第13回	7月8日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)		
第14回	7月15日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)		

第15回	7月22日 フィールドワーク「原爆と被差別部落とクリシタン」(阿南重幸)
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569000702	科目番号 / Subject code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	解放講座		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	阿南 重幸		
科目分類 / Class type	総合科学科目, A科目群 総合科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	学外非常勤講師		
担当教員TEL/Tel	09045868939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業到達目標/Goal	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式		
授業内容/Class outline/Con	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、長崎の被差別部落をキリスト教、原爆との関連において取り上げる。		
キーワード/Key word	知識・態度・技能		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。ビデオ等を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 70 出席 30		
学生へのメッセージ/Message for students	正確な知識を身に付けるようにしてください。また、毎回配布の資料等はファイルにとじて、持参するようにお願いします。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月30日 今なぜ人権教育か?(1) 「私たちの町再発見」(阿南重幸)		
第2回	10月7日 今なぜ人権教育か?(2) ワークショップ(阿南重幸)		
第3回	10月14日 部落問題 ウソ?ホント?(阿南重幸)		
第4回	10月21日 日本の近代化とアイヌ問題(1)(阿南重幸)		
第5回	10月28日 日本の近代化とアイヌ問題(2)(阿南重幸)		
第6回	11月4日 在日朝鮮人ってどんな人?(1)(阿南重幸)		
第7回	11月11日 在日朝鮮人ってどんな人?」(2)(阿南重幸)		
第8回	11月18日 ハンセン病と差別(1)(阿南重幸)		
第9回	11月25日 ハンセン病と差別(2)(阿南重幸)		
第10回	12月2日 教科書に見る部落問題(1)(阿南重幸)		
第11回	12月9日 教科書に見る部落問題(2)(阿南重幸)		
第12回	12月16日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)		
第13回	1月6日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)		
第14回	1月13日 人権問題を解決するためのプログラム(1)(阿南重幸)		

第15回	1月20日 人権問題を解決するためのプログラム(2)ワークショップ(阿南重幸)
第16回	



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569001101	科目番号 / Subject code	05690011
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	全学乗船実習		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高山 久明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高山 久明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高山 久明		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kyumei@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	水産学部本館3F東階段突当り右前		
担当教員TEL / Tel	内線2809		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	練習船による航海実習、運用実習、漁業実習、海洋観測実習及びデッキワークなど		
授業到達目標 / Goal	海洋及び船舶に慣れ、親しみ、団体生活を行い、協調性・寛容性を養い船内生活を行える。また、各実習を行い、船の運航に慣れる。		
授業方法(学習指導法) / Method	各実習の事前説明を行い資料・映像を通して行い、その後各実習を体験し慣れるとともに身につける。		
授業内容 / Class outline/Con	航海実習、運用実習、漁業実習、観測実習及びデッキワークなど		
キーワード / Key word	海、練習船、漁業実習・航海実習など乗船実習、船上体験		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	事前説明会及び乗船中に配布された資料など		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート課題提出、乗船実習内容を理解して課題提出が出来れば合格		
受講要件(履修条件) / Requirements	乗船実習前の事前説明会に出席すること。		
学生へのメッセージ / Message for students	陸上とは違う特殊環境下の海上に浮かぶ船に乗ることで、日常性を離れた生活を経験をし、日々何気なく過ごしている現在の自分の日常生活の環境が、いかに恵まれているか、素晴らしいものであるか、再認識できる機会にしてください。また、大自然の海、船の素晴らしさも再認識してください。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569061401	科目番号 / Subject code	05690614
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	オランダの文化		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 龍		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標/Goal	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式 この講義の為に作成した資料や視聴覚教材(powerpoint)を利用して、世界史が得意ではない学生にも、より分かりやすく、オランダの文化と歴史を紹介します。		
授業内容/Class outline/Con	ローマ時代前から現在までの歴史上の出来事を説明しながら、オランダの国とその発展を理解させます。オランダを知ることで北ヨーロッパの文化の発展も理解することができます。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材 : プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験70%、授業中の提出物30%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則		
学生へのメッセージ/Message for students	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オランダの紹介		
第2回	9世紀までのオランダ ローマ帝国時代・キリスト教の流布・カール大帝の文化ルネッサンス		
第3回	15世紀までのオランダ オランダ語文学の誕生・貿易国としての発展		
第4回	16世紀までのオランダ エラスムスとヒューマニズム・ルターとプロテスタント教		
第5回	16世紀までのオランダ オランダの独立戦争・ネーデルランデン7州連邦共和国の誕生		
第6回	16世紀までのオランダ 15・16世紀の芸術家たち(ファン・エイク、プリューゲルなど)		
第7回	17世紀のオランダ オランダ東インド会社の創立・日蘭交流		
第8回	17世紀のオランダ 黄金時代の芸術(レンブラント・フェルメールなど)・世界貿易中心のオランダ		
第9回	17世紀のオランダ 黄金時代の学者たち・黄金時代の英雄たち・奴隷制		
第10回	第10課 18・19世紀のオランダ ナポレオンの時代・ネーデルラント王国の誕生		
第11回	19・20世紀のオランダ ゴッホの芸術・女性権利運動・第1次世界大戦・20世紀の芸術(モンドリアンなど)		
第12回	20世紀のオランダ 第2次世界大戦・インドネシアの独立		
第13回	オランダの宗教・祭り・伝統		
第14回	オランダの教育・政治・世界の中のオランダ		
第15回	講義の総括		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569061501	科目番号 / Subject code	05690615
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	オランダの言語		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 龍		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	info@ryuumon.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	初級レベルのオランダ語入門講義です。授業には、視聴覚教材も使用し、より分かりやすく、より楽しくオランダ語を学習することで、オランダ文化への興味を喚起させることをねらいとしています。		
授業到達目標/Goal	初級レベルのオランダ語ができるようになります。資料に示された約600語のオランダ語を修得します。		
授業方法(学習指導法)/Method	ネイティブのオランダ人による日本語での講義。 この講義の為に作成した資料を活用し、聞く・話す・書くことを通して聴解・読解・文法を学びます。授業中に学習したことを家庭でCD-ROMを使用して復習してもらいます。		
授業内容/Class outline/Con	授業では、資料の第1課 自己紹介から始まります。家庭でCD-ROMを使いながら復習してもらいます。 。基本の文法を会話の中に取り入れ、学生に会話をしながら自然に文法を身に付けます。指示された範囲や内容を復習して授業に参加してください。講義での演習とCD-ROMでの復習を通してオランダ語のリズムや音も学びます。また、この資料を用いて、簡単な文を書いてもらい、文法の練習も行います。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材プリント配布 CD-ROM 100円		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教材 : プリント教材 毎回配布します。 成績評価の方法・基準等 成績評価は、 定期試験70%、授業中の発表と提出物30%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。CD-ROMは必ず購入すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	オランダ語という新しい言語を勉強する不安もあると思いますが、15回の講義でオランダ語の基本をしっかりと、楽しく教えますので、是非挑戦してみてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介 (現在形の作り方・動詞活用)		
第2回	相手の事を尋ねる (一般疑問文・疑問詞を伴う疑問文)		
第3回	相手の事を尋ねる (人称代名詞・否定文)		
第4回	自己紹介 (形容詞・副詞)		
第5回	第1回~第4回の復習		
第6回	家族の紹介、時計を読む (比較級と最上級)		
第7回	一日の予定 (名詞の単数・複数形・時刻と場所)		
第8回	一週間の予定 (助動詞の使い方)		
第9回	約束を交わす (勧誘表現)		
第10回	第5回~第8回の復習		
第11回	レストランでの会話 (過去時制)		
第12回	相手の事を尋ねる (現在完了形)		
第13回	道を探ねる (命令形)		

第14回	第9回～第11回の復習
第15回	講義の総括 会話の発表
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569062801	科目番号 / Subject code	05690628
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	長崎学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	姫野 順一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	姫野 順一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	姫野 順一, 市川 智生		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟21		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	himeno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ポルトガルやスペイン、オランダや中国、さらにはイギリスやアメリカ、アフリカなど、多様な国や地域と交流し続けてきた長崎の、多様な機能と歴史の成り立ちを、「長崎学」という地域学の体系で理解する。		
授業到達目標 / Goal	長崎の歴史を総合的に理解できる能力を身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	記録文書の文字情報、絵画や古写真といった映像情報、器物などの実物情報などに触れながら、長崎の歴史を体系的・総合的に学習する。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	南蛮貿易、キリシタン、唐人貿易、出島、居留地、蘭学、通詞、古写真、坂本龍馬、世界遺産		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書：姫野順一著『龍馬が見た長崎』（朝日選書）、同『古写真に見る幕末明治の長崎』（明石書店）、新『長崎市史』全四巻（長崎市）		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回講義の概要をまとめ講義に対する感想を書いて提出する（55%）。 中間に最終レポートの計画書を提出する（15%）。 長崎に関（30%）するテーマを自分で決めて、最終レポートを提出する。 以上を集計して総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	図書館の郷土資料コーナーやネットで関連することを調べる習慣をつける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	地域の学としての長崎学：長崎・シナ海・インド洋（姫野順一）		
第2回	長崎の誕生と南蛮文化の伝来（姫野順一）		
第3回	南蛮貿易の展開（姫野順一）		
第4回	唐人貿易と長崎（姫野順一）		
第5回	唐人文化の伝来（姫野順一）		
第6回	キリシタンの弾圧：殉教・棄教・潜伏・隠れ（姫野順一）		
第7回	鎖国と出島の機能（姫野順一）		
第8回	近世長崎の統治機構（姫野順一）		
第9回	長崎外国人居留地の形成（姫野順一）		

第10回	長崎における医学の歴史（市川智生）
第11回	洋学と坂本龍馬（姫野順一）
第12回	写真術の伝来と上野彦馬（姫野順一）
第13回	幕末明治長崎の宗教伝道（姫野順一）
第14回	軍事拠点としての長崎（市川智生）
第15回	世界遺産と長崎のまちづくり（姫野順一）
第16回	予備日

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569062802	科目番号 / Subject code	05690628
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	長崎学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	姫野 順一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	姫野 順一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	姫野 順一, 市川 智生		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	himeno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ポルトガルやスペイン、オランダや中国、さらにはイギリスやアメリカ、アフリカなど、多様な国や地域と交流し続けてきた長崎の、多様な機能と歴史の成り立ちを、「長崎学」という地域学の体系で理解する。		
授業到達目標 / Goal	長崎の歴史を総合的に理解できる能力を身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	記録文書といった文字情報、絵画や古写真といった映像情報、器物などの現物情報に触れながら、長崎の歴史を体系的・総合的に学習する。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	南蛮貿易、キリシタン、唐人貿易、出島、居留地、蘭学、通詞、古写真、坂本龍馬、世界遺産		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書：姫野順一著『龍馬が見た長崎』（朝日選書）、同『古写真に見る幕末明治の長崎』（明石書店）、新『長崎市史』全四巻（長崎市）		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回講義の概要をまとめ講義に対する感想を書いて提出し評価する（55%）。長崎に関するテーマを自分で決めて、中間でその執筆計画を提出する（15%）。最終レポートを提出する（30%）。以上を集計して最終的な総合評価とする。		
学生へのメッセージ / Message for students	図書館の郷土資料コーナーやネットで関連することを調べる習慣をつける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	地域の学としての長崎学：長崎・シナ海・インド洋（姫野順一）		
第2回	長崎の誕生と南蛮文化の伝来（姫野順一）		
第3回	南蛮貿易の展開（姫野順一）		
第4回	唐人貿易と長崎（姫野順一）		
第5回	唐人文化の伝来（姫野順一）		
第6回	キリシタンの弾圧：殉教・棄教・潜伏・隠れ（姫野順一）		
第7回	鎖国と出島の機能（姫野順一）		
第8回	近世長崎の統治機構（姫野順一）		
第9回	長崎外国人居留地の形成（姫野順一）		

第10回	長崎における医学の歴史（市川智生）
第11回	洋学と坂本龍馬（姫野順一）
第12回	写真術の伝来と上野彦馬（姫野順一）
第13回	幕末明治長崎の宗教伝道（姫野順一）
第14回	軍事拠点としての長崎（市川智生）
第15回	世界遺産と長崎のまちづくり（姫野順一）
第16回	予備日



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588000101	科目番号 / Subject code	05880001
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	特別活動論		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	柳田 泰典, 石部 邦昭		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	柳田 泰典		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	柳田 泰典, 石部 邦昭		
科目分類 / Class type	教職に関する科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員研究室/Laboratory	石部邦昭(225) 柳田泰典(非常勤)		
担当教員TEL/Tel	石部邦昭 819-2293		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	学習指導要領の包括的理解と教育体験事例の分析によって教育実践力の高度化をめざす。 高等学校学習指導要領(特別活動)の包括的な理解 ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の基本的な性格と教育的意義 4つのユニット: 「ほめる-叱る」ユニット、45(50)分授業ユニット、トラブルユニット、学級生活課題・行事ユニットの分析とグループ討論。		
授業到達目標/Goal	特別活動(ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事)の課題を明確にし、指導内容を構想することができる。 4つのユニットの学級指導メッセージの原理と課題について理解することができる。 高等学校学習指導要領を包括的に理解することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義及びグループ討論によって行う。		
授業内容/Class outline/Con	第1回 特別活動とは(映画「チェスト」から考える)[柳田] 第2回 教育課程と特別活動(映画「チェスト」から考える)[柳田] 第3回 ホームルーム活動の目標(高等学校学習指導要領から考える)[石部] 第4回 ホームルーム活動の基本的な性格と教育的意義(高等学校学習指導要領から考える)[石部] 第5回 生徒会活動の目標(高等学校学習指導要領から考える)[石部] 第6回 生徒会活動の基本的な性格と教育的意義(高等学校学習指導要領から考える)[石部] 第7回 学校行事の目標(高等学校学習指導要領から考える)[石部] 第8回 学校行事の基本的な性格と教育的意義(高等学校学習指導要領から考える)[石部] 第9回 「ほめる-叱る」ユニットの検討(あなたメッセージ)[柳田] 第10回 「ほめる-叱る」ユニットの検討(わたしメッセージ)[柳田] 第11回 45(50)分授業ユニットの検討(IRE構造・授業デザイン)[柳田] 第12回 トラブルユニットの検討(ごめんね完了型・Win-Win型)[柳田] 第13回 学級生活課題・行事ユニットの検討(掃除・合唱コンクールなど)[柳田] 第14回 高等学校学習指導要領の包括的理解1(目標と内容を中心に)[柳田] 第15回 高等学校学習指導要領の包括的理解2(指導計画を中心に)[柳田] 第16回 まとめ[石部・柳田]		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	文部科学省『高等学校学習指導要領』東山書房 2011年		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	話す・書く・調べる等、発表成果評価 30% 課題解決能力、グループでの協議・協働姿勢 30% 最終レポート 40%		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588000401	科目番号 / Subject code	05880004
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育方法・技術論		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	若菜 啓孝		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	若菜 啓孝		
科目分類 / Class type	教職に関する科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育 B 棟34		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wknhr tk@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	新館455		
担当教員TEL/Tel	095-819-2907		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	学習者の立場に立った教材開発のあり方、教材提示の方法、授業実践と教育方法などについて学習する。特に、コンピュータ等の教育メディアの利用、情報通信技術の利用について、最近の動向を踏まえた事例の紹介などを行う。また、実際に教育コンテンツを作成することで教育に必要な情報技術を修得し、ICT活用指導力を身につける。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育工学的な視点から、授業を構成する要素を列挙でき、また、各要素の特徴を理論的な背景を踏まえて説明できる。</li> <li>2. 教材分析や授業設計の手続きを説明できる。</li> <li>3. 授業の設計、実施、評価、改善に慣れ親しむ。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	講義及び演習		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	教育方法 評価 授業設計 授業評価		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>テキスト 教師のためのインストラクショナルデザイン・授業設計マニュアル 稲垣 忠・鈴木克明編著 (北大路書房)</p> <p>参考図書 学習者とともに取り組む授業改善—授業設計・教育の方法および技術・学習評価 松田稔樹 星野敦子 波多野和彦 著(学文社)</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	課題60%、期末試験40%の配分で評価し、総合点60点以上を合格とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	LACSの操作ができること、Excel、Powerpointなどのソフトウェアの操作ができること		
学生へのメッセージ/Message for students	教員の免許状取得のための必修科目であることもあり、出席厳守・課題提出厳守です。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	はじめに 本講義「教育方法・技術論」の目標と概要について(ガイダンス)		
第2回	教育方法の基礎的理解		
第3回	教育方法の視点		
第4回	授業の設計		
第5回	授業構想の検討		
第6回	教材研究の方法		
第7回	学習指導案の作成		
第8回	評価計画の立案(評価の観点と基準)		
第9回	教授方略の検討		
第10回	協同学習の方法		
第11回	ICTを利用した教育の方法		
第12回	デジタル教材作成法と情報モラル		
第13回	デジタル教材作成の実践(グループワークも含む)		
第14回	授業評価と授業改善(グループワーク)		

第15回	全体のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他/Oth. 0
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0, 0.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588000701	科目番号 / Subject code	05880007
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生徒・進路指導論		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	江頭 明文		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	江頭 明文		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	江頭 明文, 小原 達朗, 石部 邦昭		
科目分類 / Class type	査定外, 教職に関する科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-egaega@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部527号室(江頭)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2089		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(要メール連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	一人ひとりの生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動が生徒指導である。このような生徒指導の目的や意義、課題を理解するとともに、目的達成のための技法の習得や資質の向上をねらいとする。 生徒指導や進路指導の理念や意義、生徒が抱える諸課題等についての理解を深めるとともに、実践的な指導力の基礎を主体的に身につけさせるために、以下の計画で学習を進める。		
授業到達目標/Goal	生徒指導や進路指導の理念や技法、生徒の支援の在り方等について理解するとともに、実践的指導力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	生徒・進路指導の理念や意義について講義、事例を踏まえた協議、プレゼンテーション		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	実践的生徒指導力 児童生徒理解 キャリア教育		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	生徒指導提要(文部科学省)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	演習成果資料・レポート(70%) 授業及び議論への参画態度(30%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	生徒指導の意義と原理〔担当: 石部〕		
第2回	生徒指導と教育課程(目的、内容、方法等)〔担当: 石部〕		
第3回	生徒理解の方法と技術(教育相談等)〔担当: 石部〕		
第4回	部活動の意義とその在り方〔担当: 石部〕		
第5回	問題行動と生徒の心理〔担当: 小原〕		
第6回	生徒指導の実際(全体指導と個別の課題を抱える生徒の指導)〔担当: 小原〕		
第7回	生徒指導の実際(演習: 事例研究 問題行動の早期発見)〔担当: 石部〕		
第8回	生徒指導の実際(演習: 事例研究 いじめ、不登校への対応)〔担当: 石部〕		
第9回	生徒指導と法〔担当: 石部〕		
第10回	家庭・地域・関係機関との連携〔担当: 石部〕		
第11回	進路指導の理念と意義〔担当: 江頭〕		
第12回	進路指導と教育課程〔担当: 江頭〕		
第13回	キャリア教育の推進〔担当: 江頭〕		
第14回	進路実現に向けた指導の実際〔担当: 江頭〕		
第15回	進路実現に向けた指導の実際〔担当: 江頭〕		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他/Oth. 0
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588005001	科目番号 / Subject code	05880050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	私たちと法		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	江口 勇治		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	江口 勇治		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	江口 勇治		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館2F第23講義室		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	guchiyu@human.tsukuba.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	授業のねらいは、日常生活において求められる法・ルール・きまりの意義やその指導の在り方を考えることから、今求められるリーガル・リテラシーの基礎について、「法教育」の側面から実際にとらえることである。なお授業者は法律学の専門家ではなく、小・中・高校での法教育を訴えてきた教育学の研究者でありその角度から「法」を考える。		
授業到達目標/Goal	法律学の素人であっても、法・ルール・きまりに向き合うことを理解し、人々とともに規範を共有することの意義と限界を考えられることをこの授業のもっとも基礎的な到達点とする。あわせて一層、法・司法などへの専門的な興味・関心が高まることもねらいたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	アメリカの小学校で作られたテキストを利用して、「正義・公正」「責任」「権威」「自由」「幸福」などの観念を、日常に生活の実態に移して実際に考えさせる。授業では設問を用意し、それについて対話するという形式を随時取り入れた。また「法的な見方や考え方」の模擬授業も可能なら計画する。		
授業内容/Class outline/Con	集中講義のため、講義をおおよそ四つもパートにわけて、授業内容にメリハリをつける。具体的には、では「法的な見方や考え方」に向き合うことを共有する講義を実施する。では、「私たちと法」のテーマとして「正義」「責任」「権威」「自由」について、日常での設問からその実際をそれぞれに考えさせる。では、そこで共に議論された内容をより深めるために、法的な見方や考え方としてとらえさせる。では互いに確認されたことを「子供たちに教育する」という視点に立って模擬的な授業をつくりあげる。なおこれまで実施してきた法教育の取り組みや授業の実際についてビデオ等を視聴することも設定する。		
キーワード/Key word	法的な見方や考え方 法教育 リーガル・リテラシー		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜資料を印刷し、配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業へ参加・貢献度(30%)、講義での小レポートの評価(20%)、レポート(50%)をもとに、総合的に評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一回 オリエンテーション 「私たちと法」の科目の意義と「法教育」についての説明を行う。		
第2回	第二回 法教育のこれまでの取り組みと法曹三者の法教育への関与等についての概略を示すとともに、新学習指導要領での法教育の位置づけを講義する。		
第3回	第三回 アメリカのテキストを参考に「正義」「責任」を法や司法の側面から考えることの意義を理解するとともに、その共有の仕方等について考える。		
第4回	第四回 同様に「権威」「自由」のテーマをもとに話し合い、あわせて我が国の子供たちが学ぶべき「公正」「幸福」「正義」などについて学校教育の側面からとらえることの意義を講義する。		
第5回	第五回 「正義」のもとで「私たちと法」の論点から、日常的な事例を設定し、その問題への向き合い方や解決方法等を互いに話し合い、整理することを通じて「正義」や「公正」の日常的な価値を法とのかかわりからとらえる。		
第6回	第六回 「責任」をとらえることの意味を同じように「日常性」から考える設問を設定し、それについての論議を通じて、法的な「責任」とその他の「責任」の異同について互いに話し合う。		
第7回	第七回 「権威」「自由」について、政治的な見方、経済的な見方、法的な見方からそれぞれの社会的価値を考えるとともに、私たちの生活においてそれぞれの有効性を、個別具体的な事例をもとに話し合い、法的な見方の特徴を共有する。		

第8回	第八回 以上の議論整理の中から重要と思われる具体的な紛争・対立的な構図をより実際にお互いに話し合い、問題の整理とその解決に向けた取り組みを行う。なおここではおもに学校での教育や教材を想定して、その題材を設定する。
第9回	第九回 第八回と同じ形式で、具体的な問題をもとに、法的な思考をとらえることの意義を私たちの生活との関わりから考える。なお公的なことと私的なことの違いについての理解を深める工夫を合わせて行う。
第10回	第十回 小・中・高校のそれぞれの学校段階を想定して、「私たちと法」ということで重要と思われる題材や教材をお互いにつくり模擬授業を実施し、その評価を話し合い、その修正を行う。
第11回	第十一回 第十回と同じような活動や作業を実施し、「法」を現代において観念し共有する意義と問題点、限界などを話し合う。
第12回	第十二回 これまでの授業を整理するとともに、法的な事柄を超えて向き合い、物事を進めようとする人々の活動や考え方にも着目して、「私たちと法」の関係を多面的に考えることの大切さを理解する。
第13回	第十三回 法教育の在り方を学校教育ばかりでなく、生涯学習社会の教育の在り方としても考える視点を持ち、日常に生きる人々にとっての法的な見方や考え方の意義や可能性について、教材という形で成果を構想する。
第14回	第十四回 「私たちと法」という観点の持つ意味を、地域的に考え、社会の安心等に資する学び方の方向性を提案する。あわせて国際的にも考える必要性についても話し合い、その論点を整理する。
第15回	第十五回 ある具体的な紛争的な問題を設定し、対話・対審的に議論し、審議することから生まれる法的な見方や考え方の価値を検討する。
第16回	第十六回 具体的な課題に対して、レポートを提出し、文書として論点を整理、保存することの意義を学ぶ。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588005201	科目番号 / Subject code	05880052
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	ジェンダーと法		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟23		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー/Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	いまだ男女共同参画が実現していない現代日本社会にあって、ジェンダーバイアスとは何かを見る目を養い、バイアスにとらわれていることで、日本人がいかに精神的、経済的に貴重なものを逃しているかに気づいていただきます		
授業到達目標/Goal	すぐにはものの見方、考え方が変わるとは思われませんが、少なくとも身の回りの事象を歴史的・大局的に見る訓練をする事により、グローバルスタンダードを持ち、今の日本の閉塞状況を打ち壊すことができるような、自立した大人になるお手伝いをします		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的には講義ですが、みなさんに自分で考えていただくために演習形式も取り入れて、できるだけ多く質問を投げかけ、一緒に考えて行きたいと思っています。みなさんには積極的に参画していただきたいと思えます		
授業内容/Class outline/Con	<p>「第一部 ジェンダーはどう形成されてきたか(1~5)」では、過去の男女のジェンダー役割とその変遷を振り返ります</p> <p>「第二部 男女共同参画社会形成への道(6~8)」では、国際婦人年をきっかけにした女子差別撤廃から男女共同参画までの世界と日本の歩みを見ます</p> <p>「第三部 いまだ残る問題点(9~14)」では、わが国においていまだ根強くある様々なジェンダーバイアスの実態を知り、そのことがいかに社会問題を引き起こしているかを検証します</p> <p>「第四部 真の男女共同参画社会の実現に向けて(15)」では、ジェンダーバイアスにとらわれない、しなやかな生き方ができるための方策を探ります</p> <p>あらかじめ決まったテキストはありません。毎回プリントを配布しますし、関連した文献を紹介します</p>		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント配布、そのつど参考文献を紹介する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業での積極的発言、毎回の短い感想文、定期試験の成績を総合評価する		
学生へのメッセージ/Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	歴史に見る男女の姿 (古代・未開社会と母系制、封建社会における男性優位主義)		
第2回	明治から昭和初期の女性 (天皇制家族国家体制下での男性と女性、作られた「良妻賢母主義」)		
第3回	戦後の解放 (憲法、民法改正の中での女性の地位、女性の社会進出)		
第4回	高度成長期における男性と女性 (マイホーム主義、男女の役割分担の拡大最生産)		
第5回	世界史での女性差別 (ハムラビ法典から近代市民社会成立期まで)		
第6回	世界的な女性解放の潮流 (国際婦人年をきっかけに、「女子差別撤廃条約」登場の背景)		
第7回	世界の現状 (北欧先進諸国の女性たち、開発途上国の女性たち)		
第8回	日本の取組み (国の「婦人問題企画推進本部」設置から、「男女雇用機会均等法」制定の舞台裏、地域での取組み)		
第9回	ジェンダーと法制度 (憲法における平等保障、皇室典範や民法にいまに残る男系主義)		
第10回	ジェンダーと政治 (政治はだれのもの、日本の女性議員の割合は世界でも超低レベル)		

第11回	ジェンダーと雇用（女性の平均賃金は男性の半分、女性が働き続けられないワケ）
第12回	ジェンダーと福祉・社会保障（女性たちはなぜ子どもを産まないか、主婦の年金は誰が払うの？）
第13回	ジェンダーと家族（夫と妻の役割、いま子どもが育っていない！）
第14回	ジェンダーと性（リプロダクティブ・ライツ、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント）
第15回	新たな生き方の提示（高齢社会は資源の宝庫、一度の人生を悔いなく生きる）
第16回	定期試験



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588005301	科目番号 / Subject code	05880053
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	芸術と文化		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	堀内 伊吹		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	堀内 伊吹		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	堀内 伊吹		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) / Object Student	主対象、1年~4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	horiuchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部音楽棟2階206(改修工事の場合は変更します)		
担当教員TEL/Tel	095\ 819-2343		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 6時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	長崎の芸術文化活動の実態を概観し、実際に文化施設に出かけ、芸術鑑賞を行う。		
授業到達目標/Goal	音楽文化を取り巻く状況が理解でき、実際の演奏会を鑑賞し、生の演奏に触れる喜びを感じ取ることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	視聴覚機器を活用して、またその分野のゲストをお迎えしての講義と文化施設に出かけての演習。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	音楽文化、文化ホール、自主文化事業、音楽祭		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	その都度指示します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	推薦する文化イベントから2つを選択し、自分の意見を交えた芸術体験レポートを提出。レポートによる評価を行う。		
受講要件(履修条件)/Requirements	心を静めて芸術鑑賞ができること		
学生へのメッセージ/Message for students	外部講師の先生方のご都合により、授業内容が変更になる場合があります。授業開始時に、スケジュールを示します。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	この授業の進め方、ガイダンス		
第2回	「長崎の文化活動について」		
第3回	「長崎の音楽文化活動の現状」		
第4回	文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう		
第5回	「音楽文化活動としての音楽祭」		
第6回	「美術と音楽」ゲストスピーカー、米田館長をお迎えして		
第7回	「マスメディアと文化」ゲストスピーカー、市原隆靖先生を迎えて		
第8回	「美術と音楽、そして芸術」		
第9回	「長崎の歴史と文化」		
第10回	「長崎の歴史と文化」ゲストスピーカー、大堀館長を迎えて		
第11回	「音楽芸術に親しむ方法」		
第12回	「クリスマスの音楽」		
第13回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」		
第14回	「長崎の音楽活動、その行方」		
第15回	「人生の友としての舞台芸術」		
第16回	(予備)		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588005401	科目番号 / Subject code	05880054
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	共生のグローバル人類学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	増田 研		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	増田 研		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	増田 研, 波佐間 逸博, 佐藤 美穂		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ken-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	総合教育研究棟 2 階		
担当教員TEL / Tel	2923		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時(事前連絡が必要)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>グローバル化された世界における共生のあり方を、文化人類学という武器を使って探る。これがこの「共生のグローバル人類学」という講義の目的である。文化人類学は異文化ひいては文化的他者を理解する学問であり、なおかつ、人類文化の普遍性を明らかにする学問である。</p> <p>他方、私たちが生きる世界においては、共生の重要性を誰もが認めつつも、それと真っ向から対立する出来事が充ち満ちている。必要なことは「過去に学び、現在を理解し、未来を構想する」、そのための身のこなしを習得することであり、そのこと自体の重要性を理解することであろう。またグローバル化された世界を構想する力を養うことは、自らのポジションを見定めることでもある。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>(1)現代世界が抱える問題について、歴史的背景を把握しながら理解し、説明できる。</p> <p>(2)社会的事象に対する文化人類学アプローチの特色を理解し、説明できる。</p> <p>(3)現在進行している「共生」への模索と、その解決の道筋を構想し、主張することが出来る。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	原則として講義科目であるが、場合によってワークショップ形式を取り入れることもある。(実際の授業運営は受講人数によって調整される。)		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	文化人類学、多文化共生、紛争、開発、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書はとくに指定しないが、以下のものを参考書として挙げておく。(その他の推薦資料については講義中に適宜紹介する。)</p> <p>奥野克巳・花淵馨也(編)『文化人類学のレッスン』(学陽書房)、2005年  佐藤 寛、藤掛 洋子編著『開発援助と人類学 冷戦・蜜月・パートナーシップ』明石書店  2011年</p>		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回のレスポンスペーパー(40%)および試験(60%)によって評価する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	<p>受講生は以下の点を努力して欲しい。</p> <p>(1)可能な限り全ての回に出席すること(すべての講義が一続きになるようにシラバスを設計しており、欠席すると理解が追いつかないかもしれない。)</p> <p>(2)社会情勢とりわけ世界の出来事をよく知っていることが望ましい。日常生活において新聞を読むことを習慣とすること(インターネット上の「ネット記事」ではダメである。)</p>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	現代社会の多様な問題と「共生」(増田) 現代社会の問題を意識し、「共生」へと関心を開くこと		
第2回	世界はボーダーレスの球面である(増田) 世界の「つながり」を認識し、自らが生きる「狭い世界」の脈絡とつなげる。		
第3回	帝国主義と植民地、世界システム(増田) 異文化交流の問題を、世界史的視野において理解する。		
第4回	文化人類学のアプローチ(増田) 文化人類学の出現から現在までのアプローチの変遷を理解する。		
第5回	エスノグラフィーを書く:紛争と健康と教育(増田) 増田によるエチオピアでのフィールドワーク実践例を通して、現代的課題に対する取り組みの事例を知る。		

第6回	アフリカにおける紛争の研究：導入（波佐間・増田） アフリカにおける紛争の概要と、その理解のパラダイムを知る。
第7回	敵対と友好を揺れ動く民族間関係（波佐間・増田） 北東ウガンダの牧畜民社会の紛争の事例から民族間関係の動態を理解する。
第8回	マスメディアがむける東アフリカの民族紛争へのまなざし（波佐間・増田） マスメディアが広めるアフリカへのステレオタイプを批判する。
第9回	東アフリカ牧畜社会での平和構築と外部介入（波佐間・増田） ケニア・カクマ難民キャンプの事例をもとに、平和構築のあり方を理解する。
第10回	社会開発（Development）とは何か？（増田） 共生的関与のあり方のひとつである「社会開発」の概要と、その歴史的経緯を理解する。
第11回	第二次世界大戦中、戦後の人類学の歴史的背景（佐藤・増田） 人類学の発展の背景の具体例および、戦中の人類学の目的と戦後のそれに対する批判を理解する。
第12回	世界銀行の中での人類学、人類学者（佐藤・増田） 世界銀行の開発政策の変遷とそこでの人類学者の役割を理解し、世界銀行の人類学者らが提唱する国際開発のキーワードとその概念を説明できるようにする。
第13回	開発と人類学：事例紹介(1)（佐藤・増田） 人類学的アプローチを開発プロジェクトに応用した事例を通して、その特長、特色を理解する。
第14回	開発と人類学：事例紹介(2)およびまとめ（佐藤・増田） 人類学的アプローチを保健プロジェクトに応用した事例を通して、その特長、特色を理解する。
第15回	全体の総括（増田） 講義全体の総括を行う。
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588005501	科目番号 / Subject code	05880055
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	社会学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	南 誠		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	南 誠		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	南 誠		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lisk-minami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟303		
担当教員TEL/Tel	095-819-2926		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで連絡		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	社会学の基礎知識と社会を捉えるための方法を習得することにある。		
授業到達目標/Goal	社会学の考え方や方法の習得をとおして、現代社会を理解・研究するための力を身につけ、社会諸現象を社会的に説明することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的には、パワーポイントを用いた講義形式による。必要に応じて、グループワークを行う。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書はとくに指定しない。授業のなかで適宜に参考文献と課題文献を紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(80%)、授業および討論への参加度(20%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	社会学の確立		
第3回	社会学の発想		
第4回	親密空間と公共空間		
第5回	自己と相互行為		
第6回	家族とライフコース		
第7回	職業と組織		
第8回	グローバルとナショナル		
第9回	エスニシティと境界		
第10回	歴史と記憶		
第11回	社会的包摂と排除		
第12回	映像で社会学 映像資料鑑賞		
第13回	映像で社会学 グループ討論		
第14回	映像で社会学 グループ討論		
第15回	映像で社会学 グループ討論		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588005601	科目番号 / Subject code	05880056
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	日本の言語と文化		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 幸恵		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 幸恵		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 幸恵		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟22		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yu-ikeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部2号館12階		
担当教員TEL/Tel	819-2931		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	現代日本語に興味を持ち、日本語に関する理解を深める。		
授業到達目標/Goal	敬語が正しく使える。敬語の誤用を訂正できる。正しい日本語表記ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義終了後に確認テストを行う。		
授業内容/Class outline/Con	現代日本語に関する諸問題について、敬語・方言・表記などのテーマごとに講義する。 第16回 定期試験		
キーワード/Key word	日本語 方言 敬語 表記		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	確認テスト50%、定期試験50%		
学生へのメッセージ/Message for students	受講を通して、自分の日本語の「正しさ」を見つめ直しましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	敬語に関する世論調査(1)		
第3回	敬語に関する世論調査(2)		
第4回	敬語の正用・誤用		
第5回	手紙を書く		
第6回	方言(1) 方言の歴史		
第7回	方言(2) 方言と共通語		
第8回	方言(3) 方言の研究		
第9回	方言(4) 長崎県の方言		
第10回	方言(5) 方言地図をよむ		
第11回	日本語表記の諸問題(1) 現代仮名遣		
第12回	日本語表記の諸問題(2) 漢字政策		
第13回	現代語の諸問題(1) 若者言葉		
第14回	現代語の諸問題(2) 外来語		
第15回	現代語の諸問題(3) 日本人の名前		
第16回	テスト		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150588005701	科目番号 / Subject code	05880057
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	上級外国語(フランス語)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	3年, 4年, 5年, 6年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	フランス語のコミュニケーションの実践力をさらに身につけるための授業です。 自分自身の言葉で明確に考えを表現し、ヨーロッパ共通言語参照枠のA2レベルに相当する授業となります。		
授業到達目標 / Goal	CALL教室やIpadを使用して、復習をしながら、さらに完璧な会話力を身につけることを目標とします。		
授業方法(学習指導法) / Method	教科書を使用しながらフランス語でコミュニケーションをとります。 3人程度のグループに分かれて、Ipadを使用し、シナリオを作り、それをビデオにとります。 他にも、皆さんの希望を聞きながら授業をみんなで作り上げます。		
授業内容 / Class outline / Con	授業内容(概要)		
キーワード / Key word	上級フランス語		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	コピーを渡します。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	発表50%、課題25%、授業態度25%を総合的に判断する。		
学生へのメッセージ / Message for students	皆さんの興味・関心があることを教えてください。それらを取り入れながら授業していきます。時間割では水曜の6限になっていますが、受講希望者の意見を聞いて、時間割を変えます。受講希望者で水曜の6限に来れない場合は、eohashi@nagasaki-u.ac.p に受講可能な曜日と時間をメールしてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Ipadを使って、発音を調べよう。		
第2回	Dragon dictationを使用して、発音を練習してみよう。		
第3回	「～していたものだった」を学ぶ 1) サッカーをしていた 2) 漫画をよんでいた 3) 塾に行っていた		
第4回	「未来形」を学ぶ 1) 天気予報を言ってみる 2) テツオの1年の終り 3) ペアレッスン		

第5回	「関係代名詞」を学ぶ 1) 二つの文をひとつにする 2) チャットをしよう 3) シャンソンの単語を聞き取ろう
第6回	「パワーポイントで自分の出身県を紹介しよう」
第7回	発表
第8回	友達を映画にさそう会話を考えよう。
第9回	グループワーク(1) シナリオを作ってみる
第10回	グループワーク(2) Ipad でビデオを撮影しよう
第11回	発表
第12回	友達とレストランに行く会話を考えよう。
第13回	グループワーク(1) シナリオを作ってみる
第14回	グループワーク(2) シナリオを作ってみる
第15回	グループワーク(3) Ipad でビデオで撮影しよう
第16回	発表

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150588005801	科目番号 / Subject code	05880058
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	上級外国語(中国語)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楊 暁安		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楊 暁安		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楊 暁安		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	3年, 4年, 5年, 6年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟42		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaoran@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の6校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講は学生が2年次までに習得した中国語基礎コミュニケーション能力の向上とより高度な表現力の養成をめざす。「読む・書く・聴く・話す」の四能力のうち、特に「聞く・話す」に重点を置きながら、標準的な日常会話ができる語学力を習得させる。		
授業到達目標/Goal	テキストをもとに、日常生活によく使われる表現を用いて基本的な文法を学び、標準的な日常会話ができるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	各課はテーマを設定し、その会話の場面に応じた語彙・文法表現などを導入した上で、ペアを組ませて会話練習を行い、現在の中国で実際に使われている口語の生き生きとした表現を学ぶ。コミュニケーションの能力をバランスよく習得し、「聴く、話す」能力が向上するように努める。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。毎回の授業ではテキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト(60%)、口頭発表・課題(30%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1課 自己紹介		
第2回	第2課 電話をかける		
第3回	第3課 道を尋ねる		
第4回	第4課 買い物		
第5回	第5課 銀行で		
第6回	第6課 郵便局で		
第7回	第1課~第6課のまとめ		
第8回	第7課 病院で		
第9回	第8課 食事		
第10回	第9課 宿泊		
第11回	第10課 交通		
第12回	第11課 旅行		
第13回	第12課 アルバイト		
第14回	第7課~第12課のまとめ		
第15回	総合復習		
第16回	期末試験		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150588005901	科目番号 / Subject code	05880059
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	上級外国語(韓国語)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	3年, 4年, 5年, 6年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	E, P, F, T		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教養B棟1階106号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081(直通)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間以外は、基本的に対応可。時間割は教員研究室の前に掲示しています。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	韓国語 ~ で身につけた韓国語運用能力を総合し、実践する科目です。		
授業到達目標/Goal	必要な資料を日韓両言語で集め、読解することができる。必要なデータを日韓両言語で収集し、分析することができる。調査結果を分かりやすく発信することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	2泊3日の韓国でのグループ・リサーチが中心となります。それに向けて事前にグループで準備をし、事後はプレゼンを行います。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	事前発表(回数未定) 30% 現地リサーチ 20% 事後プレゼン 20% 授業への取り組み方(授業態度、参加状況) 20% 定期試験 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	本科目は原則、韓国語 ~ を履修した人を対象とします。また、現地リサーチを含め、全回出席しなければなりません。入室の際は、ICカードリーダーで打刻するように。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください(必要書類は教養教育事務室で確認するように。教員にメールや電話で連絡する必要はない)。授業中に使用した資料はすべて紙媒体でファイリングし、大学卒業時まで保管してください。		
学生へのメッセージ/Message for students	現地リサーチ費用は個人負担となります。長崎 ソウル直行便(LCC)利用予定。受講を検討している人はまず、パスポートを作ってください。また、受講希望者がグループリサーチに必要な数に達しない場合は、開講をしないことがあります。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月8日 オリエンテーション		
第2回	4月15日 調査地バトル		
第3回	4月22日 リサーチ・トピックを決める		
第4回	5月13日 リサーチ・方法を決める		
第5回	5月20日 リサーチ・クエスチョンを決める		
第6回	5月27日 最終チェック		
第7回	2泊3日 現地リサーチ		
第8回	2泊3日 現地リサーチ		
第9回	2泊3日 現地リサーチ		
第10回	6月15日 アンケート集計		
第11回	6月22日 アンケート集計		
第12回	6月29日 パワポ作り		

第13回	7月6日 パワボ作り
第14回	7月13日 パワボ作り
第15回	7月27日 プレゼンテーション
第16回	定期試験 日にちは後日発表。出席が3分の2に達しない場合は、定期試験の受験資格が与えられません。成績評価は、欠席。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588006501	科目番号 / Subject code	05880065
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	共生するアジアの多文化社会		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則, 森川 裕二		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	総合教育研究棟12F		
担当教員TEL/Tel	819-2932		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日4校時 要:メールにてアポイントメント		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	共生するアジアの多文化社会をいかに構想すべきか。この問いに対し、社会学、人類学、政治学、歴史学、経済学等の多彩な講師陣による、学際性と総合性を同時に探求した講義を提供する。具体的には「共生」を講義全般に共通する鍵概念に据えて、理論的な基礎を学ぶ「知のクロスオーバー」、さらに「記憶との共生」、「越境する文化・人」、「アジアのガバナンス」の3つのテーマ別セッションで構成する。授業を通じて、国家、市民、地方社会といった多様な主体が形成するアジアの現状についての理解を促すとともに、さらに授業に併催するセミナー等の企画を通じて、「共生するアジアの多文化社会」の課題についての議論を深めていく。		
授業到達目標 / Goal	アジアを多文化状況とその共生的未来について、学術的な根拠づけをもって論じることができるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	教員の単独開講の回、ゲスト講師の講演および担当教員・ゲスト講師・受講生共同討議の回を組み合わせることで、講義科目の長所とアクティブラーニングの長所を接続させる形で展開する。		
授業内容 / Class outline / Con	講義は四つのパートに別れている。 I 「知のクロスオーバー」 現在の人文・社会科学が「共生」、「文化」、「アジア」にアプローチする際の基本視角を学説する。  II 「記憶との共生」 主として人文的アプローチにより、アジアの歴史・記憶を学問的に捉え、未来を構想するための主要な論点を確認する。  III 「越境する文化・人」 主として社会的アプローチにより、人と文化の移動という観点からアジアを捉え直すための主要な論点を確認する。  IV 「アジアのガバナンス」 主として社会的アプローチにより、アジアの現状と未来を具体的に構想するための主要論点を確認する。		
キーワード / Key word	アジア、共生、多文化社会		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は指定せず、教材をLACSを利用して配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各回のレスポンスペーパー 75% 最終レポート 25%		
備考 (URL) / Remarks (URL)	<a href="http://asia.prj.nagasaki-u.ac.jp/">http://asia.prj.nagasaki-u.ac.jp/</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	本講義は、平成22年度～27年度長崎大学重点研究プロジェクトの成果を教育に還元するという目的を持ちます(上記URL参照)。 ゲスト講師は、重点研究プロジェクトが獲得した予算の枠組で招聘します。ゲスト講師を交えて授業と関連したシンポジウムを開催しますので、積極的に参加してください。ゲスト講師とシンポジウムについては授業の際に詳しく説明します。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	「知のクロスオーバー」 記憶との共生（葉柳和則）4/8
第2回	「知のクロスオーバー」 方法論的トランスナショナリズムとアジア（葉柳和則）4/15
第3回	「知のクロスオーバー」 非西欧型政治学とアジア（森川裕二）4/22
第4回	「記憶との共生」 歴史と記憶（葉柳和則）5/13
第5回	「記憶との共生」 東アジア共同体の構築（葉柳和則）5/20
第6回	「記憶との共生」 植民地経験者の歴史と記憶（南誠）5/27
第7回	「越境する文化・人」 漂泊する民（中国少数民族）（首藤明和）6/3
第8回	「越境する文化・人」 越境する人と宗教（滝澤克彦）6/10
第9回	「越境する文化・人」 越境する人がつくるアジア（賽漢卓娜）6/17
第10回	「越境する文化・人」 東アジアの文化交流（王維）6/25
第11回	「越境する文化・人」 アジア海域交流史（野上建紀）7/1
第12回	「アジアのガバナンス」 <経済アジア> 貧困からの脱却（小松悟）7/8
第13回	「アジアのガバナンス」 日中関係と歴史認識（森川裕二）7/15
第14回	「アジアのガバナンス」 「リージョナリズムとアジア」（森川裕二）7/22
第15回	「アジアのガバナンス」 「アジアのガバナンスと市民社会」（森川裕二&コンベル・ラドミール）7/29
第16回	レポート

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588006601	科目番号 / Subject code	05880066
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	自分のキャリアを考える講座 ~ 男女共同参画とダイバーシティの視点から ~		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	伊東 昌子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	伊東 昌子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	伊東 昌子		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	男女共同参画推進センター		
担当教員TEL / Tel	095-819-2382		
担当教員オフィスアワー / Office hours	8:00-20:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	男女共同参画・ワークライフバランス・ダイバーシティを通して、社会の一員としてのキャリア形成に役立てる。		
授業到達目標 / Goal	自分をよく理解すること、自分のやりたいこと、なりたい人間像を知ること。ワークライフバランス・多様性容認の意味を理解し、自分のキャリア形成に関連付けられることができるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義、グループワーク、実習		
授業内容 / Class outline / Con	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介と自分を知るためのワーク 4/8</li> <li>2. 多様なライフスタイルにおけるワークライフバランス 4/15 DVD鑑賞と感想レポート</li> <li>3. 自分のキャリアを自分で考えるために 4/22</li> <li>4. ワークライフバランスとダイバーシティ 5/13</li> <li>5. 女性の活躍推進に必要なこと 5/20</li> <li>6. ヒト - 命をつなぐ 5/27 (大石)</li> <li>7. 妊娠・出産・育児を取り巻く社会変遷と現状 6/3 (大石)</li> <li>8. 男性のワークライフバランス 6/10</li> <li>9. 潜在的な性別役割分担は存在するか? 6/17</li> <li>10. 将来の働く君のために 6/24</li> <li>11. 学問の分野での男女共同参画 7/1</li> <li>12. 長崎大学での男女共同参画の取組 7/8</li> <li>13. 多様性 (ダイバーシティ) はなぜ必要か? 7/15 (本間)</li> <li>14. キャリアにおける成功とはなにか? 7/22 (本間)</li> <li>15. 学生のプレゼンテーション (成績評価) 7/29</li> </ol>		
キーワード / Key word	男女共同参画、ワークライフバランス、多様性、キャリア形成、自分探し		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特になし		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポートとプレゼンテーション (60%)、出席 (40%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
備考 (URL) / Remarks (URL)	<a href="http://nagasaki-ajisai.jp">http://nagasaki-ajisai.jp</a> , <a href="http://www.gender.go.jp">http://www.gender.go.jp</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	自分の人生と仕事のキャリアを考え、なりたい自分を見つける。また社会生活において他の人の考え方・価値観を容認することの重要性や、生活と仕事の両立・相乗効果と一緒に考え、これから社会人になっていくみなさんのために有意義な講義にしていきたいと思ひます。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588006701	科目番号 / Subject code	05880067
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	データの科学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宰		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宰		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宰		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	大学教育イノベーションセンター・アドミッション部門		
担当教員TEL/Tel	095-819-2117		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(LACS掲示板, eメール等)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は「データによって現象を理解する」ために必要な、データを収集、整理、表現、分析する際の基本的な心構えと知識、技能を身につけることを目的とする自由選択科目です。なお取り扱うデータは主として社会科学領域のものとなります。		
授業到達目標/Goal	データを収集、整理、表現、分析する際の基本的な心構えを理解するとともに、基礎的な知識と技能、データを批判的に吟味する基礎的力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義と演習で授業を進めます。演習では資料収集、データの整理と表現、簡単な分析等を行います。グループでの活動を取り入れたいと考えていますがどうするかは受講者次第です。授業に関する連絡、資料配布、課題提出等にLACSを積極的に利用します。		
授業内容/Class outline/Con	次の項目について講義・演習を行う予定です。 ・データに基づく主張いろいろ ・データの集め方さまざま ・データの整理と表現 ・データを読む ・データをさらに読む ・データから推測する ・データに基づいて主張する ・(モデルに基づくデータの分析)		
キーワード/Key word	データ 収集 整理 表現 分析		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜資料等を配布します。テキストは指定しません。必要に応じて参考文献等を示します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験(50%), 課題, 授業への積極的関与の程度など(計50%)によって総合的に評価します。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではパソコンを利用します。オフィスソフトを不自由なく操作できることを前提としています。授業時間中のサポートは原則として行いません。また、授業外であっても、MacOS以外についてはよく知りませんのでサポートしかねます。あらかじめご了承ください。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588010001	科目番号 / Subject code	05880100
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	平成長崎塾		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克, 姫野 順一, 冨塚 明, 市川 智生		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi@nagasaki-u.ac.jpまたはkittyphm@fsinet.or.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>笈を負うて長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった、ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟、坂本龍馬、高杉晋作、福澤諭吉は長大OBと自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は？文化は？地域が誇るものは？原爆被災や復興は？...この講義では、そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と、そしてこの長崎大学を育み、かつ大学とともに歩んできた長崎の街やを多面的な切り口から知ることによって、長崎大学で学び、長崎の街で学生生活を送る諸君が、本学や長崎を誇りに思い(愛校精神)、将来、地域活性や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また、多面的なものの見方、考え方があることを知り、長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>長崎大学や長崎の歴史、文化、文学の概要が説明できるようになることです。多面的なものの見方、考え方があることを理解することです。歴史、文化、文学の長崎独自性について意見を展開できることを目指します。長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身に付けることです。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>基本的に講義形式で行いますが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>長崎大学や長崎の歴史、文化、外交、文学、地域の特性などについて、それぞれ専門の担当教員・講師が、ユニーク、かつ多面的な切り口で講義します。</p>		
キーワード/Key word	長崎大学 長崎 長崎学 シーボルト ポンペ 歴史 文化 世界遺産 外交 原爆被害 軍事基地		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の積極的な授業への出席を前提に、提出するレポートで評価します(100%)。		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席し、レポートを提出することを単位認定の要件とします。		
学生へのメッセージ/Message for students	<p>長崎大学や長崎の歴史、文化など多面的に知り、長崎大学生であることを誇りに思い、長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送ることです。本科目を履修し、長崎学により深い興味を持ち、長崎検定などに合格することも、学習意欲を身に付けることにつながります。</p>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	科目の趣旨説明、講義概要、講義の進め方、長崎大学の現況(高橋)		
第2回	1) フォン・シーボルトと鳴滝塾(相川)		
第3回	2) 海軍伝習と日本の近代化(相川)		
第4回	3) ポンペ・ファン・メールデルフォールトの医学伝習(相川)		
第5回	1) 長崎ことはじめ、長崎が誇る世界遺産(高橋)		
第6回	1) 長崎の外国人社会と感染症対策(市川)		
第7回	2) 軍事拠点としての長崎(市川)		
第8回	1) 長崎原爆被害の実相(冨塚)		
第9回	2) 米戦略と長崎県の軍事基地(冨塚)		
第10回	1) 長崎における近代的学校の成立(姫野)		

第11回	2) 長崎の歴史を築いた人々 (高橋)
第12回	3) 長崎の歴史散策紹介(1) (高橋)
第13回	4) 長崎の歴史散策紹介(2) (高橋)
第14回	2) 原爆被災と長崎大学 (姫野)
第15回	5) 長崎検定・長崎通への誘い,まとめ (高橋)
第16回	



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588010201	科目番号 / Subject code	05880102
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	疑似科学とのつき合い方		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	武藤 浩二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	武藤 浩二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	武藤 浩二, 安部 俊二, 福山 隆雄, 山岸 賢一郎		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟42		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	cosy @nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 美術技術教室 206		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	現代社会に蔓延する各種の疑似科学について学び、それらがなぜ疑似科学と呼ばれるのかを理解することによって、科学的なものの見方を獲得する。 さらに科学の「限界」を把握し、科学と価値の関係の理解を通じて、自律的に生きるための基礎力を養う。		
授業到達目標/Goal	科学的なものの見方を獲得する。 疑似科学かどうかを判断するための方策を考えることができるようになる。 科学と価値の関係について考察できるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	黒板への番書やスライド、ビデオを用いた講義と、担当教員と受講生による討論を行う。 講義資料や課題用紙はLACSや教員のWEBページを通じて配布する。		
授業内容/Class outline/Con	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各教員がテーマに基づいて講義を行う。 回 担当者及びテーマ 01 全教員「Introduction」 02 福山隆雄「血液型と性格」 03 武藤浩二「マイナスイオンとゲルマニウム」 06 福山隆雄「デマの拡がり」と都市伝説」 04 武藤浩二「水からの伝言」 05 武藤浩二「代替医療」 07 武藤浩二, 山岸賢一郎「リアルとバーチャルの狭間」 08 全教員「全体討論会#1」(第1~7回の講義について全教員・学生で討論) 09 小西祐馬「社会調査のリテラシー:統計データとの正しい接し方」 10 小西祐馬「乳幼児の教育について:早期教育の問題点」 11 安部俊二「蔓延する学位商法(ディプロマ・ミル)」 12 安部俊二「裁判と 科学 :血液型とDNA鑑定」 13 山岸賢一郎「『昔はよかった』を考える」 14 山岸賢一郎「信じること/疑うことを考える」 15 全教員「全体討論会#2」(講義全体について全教員・学生で討論) 各教員の担当回及びテーマは変更する場合があります		
キーワード/Key word	科学, 疑似科学, 前科学, 宗教の歴史, 認識論, 感性, 法医学, 大学偽装		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	資料:長崎大学教育学部「疑似科学とのつきあいかた」研究会編『疑似科学とのつきあいかた:教師を目指す皆さんへ』 <a href="http://hdl.handle.net/10069/23093">http://hdl.handle.net/10069/23093</a> 参考書:菊池聡『なぜ疑似科学を信じるのか』(化学同人), 菊池誠 et.al.『もうだまされなないための「科学」講義』(光文社新書), 安斉育郎『科学と非科学との間』(かもがわ出版), 伊勢田哲治『疑似科学と科学の哲学』(名古屋大学出版会), 池内了『疑似科学入門』(岩波新書), 菊池聡 et.al.『不思議現象 なぜ信じるのか』(北大路書房), 伊勢田哲治 et.al.『科学技術をよく考えるクリティカルシンキング練習帳』(名古屋大学出版会), ジュリアン・バジーニ『100の思考実験』(紀伊國屋書店), 南郷継正『弁証法・認識論への道』(三一書房), 等		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義テーマへの積極的な取り組みを重視する立場から、最終課題レポート(50%), 討論を含む講義への貢献度および各教員が課す「小レポート」の成績(50%)で総合的に評価する。		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	講義情報についてはLACSを参照のこと		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015001	科目番号 / Subject code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎物理		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原 義明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	原 義明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	原 義明		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-7537-5434		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	物体の運動, 熱, 電気・磁気などの諸現象が, "力" や "エネルギー" の概念を用いて記述でき, 法則と		
授業到達目標/Goal	物体の運動を運動方程式や力学的エネルギー保存の法則を用いて解明できるようになる。また熱や電気・磁気分野においてもエネルギーや力の概念で成り立つ法則を理解し, 現象解明に適用できるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義及び演習。学習内容はプリントにて配付します。		
授業内容/Class outline/Con	力学 熱 及び 電気・磁気の一部の分野		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	物理基礎研究ノート2015 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株)博洋社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 60% 小テスト 20% (授業時に実施), 課題レポート+授業取り組みへの意欲・態度 20%		
学生へのメッセージ/Message for students	・質問は授業日(水曜)の14:30~非常勤講師控室にて受けますので, 積極的に質問して下さい。 質問箱を非常勤講師控室に設置しますので, 質問用紙に必要事項を記入し投函してください。 ・学習したら自分で問題演習に取り組み, わからないところを質問等したりして, 理解するよう努める。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	速さと等速直線運動, 速度(平均の速度・瞬間の速度)		
第2回	速度の合成と相対運動, 加速度(平均の加速度・瞬間の加速度)		
第3回	等加速度直線運動		
第4回	落下運動(自由落下・鉛直投射・水平投射・斜法投射)		
第5回	さまざまな力, 力の合成・分解とつり合い, 作用反作用の法則		
第6回	慣性の法則, 運動の法則, 運動方程式		
第7回	運動方程式の応用, 摩擦力		
第8回	圧力・浮力		
第9回	仕事・仕事の原理・仕事率		
第10回	運動エネルギー, 運動エネルギーの変化と仕事, 位置エネルギー		
第11回	力学的エネルギーの保存		
第12回	熱と温度, 熱量の保存		
第13回	熱と仕事, 熱機関と熱効率		
第14回	電流と電気抵抗, 抵抗の接続, 電気とエネルギー		
第15回	電流と磁場		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015002	科目番号 / Subject code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎物理		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原 義明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	原 義明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	原 義明		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-7537-5434		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	物体の運動, 熱, 電気・磁気などの諸現象が, "力" や "エネルギー" の概念を用いて記述でき, 法則と		
授業到達目標/Goal	物体の運動を運動方程式や力学的エネルギー保存の法則を用いて解明できるようになる。また熱や電気・磁気分野においてもエネルギーや力の概念で成り立つ法則を理解し, 現象解明に適用できるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義及び演習。学習内容はプリントにて配付します。		
授業内容/Class outline/Con	力学 熱 及び 電気・磁気の一部の分野		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	物理基礎研究ノート2015 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株)博洋社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 60% 小テスト 20% (授業時に実施), 課題レポート+授業取り組みへの意欲・態度 20%		
学生へのメッセージ/Message for students	・質問は授業日(水曜)の14:30~非常勤講師控室にて受けますので, 積極的に質問して下さい。 質問箱を非常勤講師控室に設置しますので, 質問用紙に必要事項を記入し投函してください。 ・学習したら自分で問題演習に取り組み, わからないところを質問等したりして, 理解するよう努める。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	速さと等速直線運動, 速度(平均の速度・瞬間の速度)		
第2回	速度の合成と相対運動, 加速度(平均の加速度・瞬間の加速度)		
第3回	等加速度直線運動		
第4回	落下運動(自由落下・鉛直投射・水平投射・斜法投射)		
第5回	さまざまな力, 力の合成・分解とつり合い, 作用反作用の法則		
第6回	慣性の法則, 運動の法則, 運動方程式		
第7回	運動方程式の応用, 摩擦力		
第8回	圧力・浮力		
第9回	仕事・仕事の原理・仕事率		
第10回	運動エネルギー, 運動エネルギーの変化と仕事, 位置エネルギー		
第11回	力学的エネルギーの保存		
第12回	熱と温度, 熱量の保存		
第13回	熱と仕事, 熱機関と熱効率		
第14回	電流と電気抵抗, 抵抗の接続, 電気とエネルギー		
第15回	電流と磁場		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015003	科目番号 / Subject code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎物理		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原 義明		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	原 義明		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	原 義明		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	n-tagawa@octp-net.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-7927-1774		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールにより質問を受け付けます。n-tagawa -@octp-net.ne.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。		
授業到達目標/Goal	物理の力学分野を学び、ニュートンの運動の法則と力学的エネルギー保存の法則により、様々な物体の運動について予測できるようにする。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義及び演習		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	物理基礎研究ノート 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行所 株式会社博洋社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 60% 小テスト 30% (毎時間15回実施) 授業に取り組む態度 10%		
学生へのメッセージ/Message for students	質問については、メールだけでなく、口頭でも受け付けます。水曜日の15時には非常勤講師控室にいますので、積極的に質問してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	等速度速度運動 速さと単位 速さと速度 平均の早さ		
第2回	速度の合成 相対速度		
第3回	加速度 等加速度直線運動		
第4回	等加速度直線運動		
第5回	様々な力 力の合成 力の分解		
第6回	1点に働く力のつり合い		
第7回	摩擦力 抵抗力		
第8回	力のモーメント		
第9回	ニュートンの運動の法則 力の単位		
第10回	運動方程式		
第11回	重力による運動 自由落下 鉛直投げ上げ		
第12回	重力による運動 水平投射 斜方投射		
第13回	運動エネルギーと位置エネルギー		
第14回	仕事 仕事の原理 仕事率		
第15回	力学的エネルギー保存の法則		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015101	科目番号 / Subject code	05880151
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎化学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	筒井 保之		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	筒井 保之		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	筒井 保之		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟14		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yasuyasu851@mx.b.cncm.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室にて水曜日 15:30以降・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校で「化学基礎」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学基礎」の範囲の基礎的基本的内容を学習します。		
授業到達目標/Goal	高等学校「化学基礎」で履修する範囲の基礎的基本的な学習内容について理解し、学習内容に関連の分野で活用できるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業形式で行いますが、一部演習の時間を入れる予定です。指定したテキスト等をもとに、受講者自ら基礎的基本的内容を学習するとともに、発展的な学習にも努めてもらいます。		
授業内容/Class outline/Con	高等学校「化学基礎」をテキストとして使用し、その基礎的基本的事項に関して解説を中心に授業を進めます。学習内容の確認定着が特に必要な内容について、一部演習の時間を設定します。また、小テストの実施と課題を出しその提出を求めることがあります。ただし、時間的な制約もあるため、受講者自らでテキストを予習復習し、学習内容の定着と学習に関連した問題演習に努める必要があります。		
キーワード/Key word	基礎化学 化学基礎		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	数研出版 「化学基礎」 (大学生協で販売しています)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、定期試験60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価40%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	化学の基礎基本を学習します。関連の項目について積極的な演習をおこないきましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	1 物質の構成		
第3回	2 物質の構成粒子 原子とその構造、電子配置、イオン、周期表		
第4回	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子		
第5回	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属 (6)化学結合のまとめ・結晶		
第6回	4 物質と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量		
第7回	(2)物質質量 (3)化学反応式 (4)化学反応式と物質質量		
第8回	(5)演習		
第9回	5 酸と塩基 (1)酸・塩基		
第10回	(2)水の電離と水溶液のpH		

第11回	(3)中和反応
第12回	(4)塩の分類と液性 (5)演習
第13回	6 酸化還元反応 (1)酸化と還元 (2)酸化剤と還元剤
第14回	(2)酸化還元反応 (3)金属の酸化還元反応
第15回	(4)演習 (5)酸化還元反応の利用
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015102	科目番号 / Subject code	05880151
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎化学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	筒井 保之		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	筒井 保之		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	筒井 保之		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟14		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yasuyasu851@mx.b.cncm.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	非常勤講師室にて水曜日 15:30以降・要確認		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高等学校で「化学基礎」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学基礎」の範囲の基礎的基本的内容を学習します。		
授業到達目標 / Goal	高等学校「化学基礎」で履修する範囲の基礎的基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連の分野で活用できるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	授業形式で行いますが、一部演習の時間を入れる予定です。指定したテキスト等をもとに、受講者自ら基礎的基本的内容を学習するとともに、発展的な学習にも努めてもらいます。		
授業内容 / Class outline / Con	高等学校「化学基礎」をテキストとして使用し、その基礎的基本的事項に関して解説を中心に授業を進めます。学習内容の確認定着が特に必要な内容について、一部演習の時間を設定します。また、小テストの実施と課題を出しその提出を求めることがあります。ただし、時間的な制約もあるため、受講者自らでテキストを予習復習し、学習内容の定着と学習に関連した問題演習に努めることが必要です。		
キーワード / Key word	基礎化学 化学基礎		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	数研出版 「化学基礎」 (大学生協で販売しています)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	成績評価は、定期試験60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価40%で行います。		
受講要件(履修条件) / Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
学生へのメッセージ / Message for students	化学の基礎基本を学習します。関連の項目について積極的な演習をおこないきましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	1 物質の構成		
第3回	2 物質の構成粒子 原子とその構造、電子配置、イオン、周期表		
第4回	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子		
第5回	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属 (6)化学結合のまとめ・結晶		
第6回	4 物質と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量		
第7回	(2)物質質量 (3)化学反応式 (4)化学反応式と物質質量		
第8回	(5)演習		
第9回	5 酸と塩基 (1)酸・塩基		
第10回	(2)水の電離と水溶液のpH		

第11回	(3)中和反応
第12回	(4)塩の分類と液性 (5)演習
第13回	6 酸化還元反応 (1)酸化と還元 (2)酸化剤と還元剤
第14回	(3)酸化還元反応 (4)金属の酸化還元反応
第15回	(5)演習 (6)酸化還元反応の利用
第16回	定期試験



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015201	科目番号 / Subject code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎生物		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平倉 充		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	平倉 充		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	平倉 充		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10@yahoo.co.jp		
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Goal	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回、講義内容のプリントを準備する。教科書を用いて講義する。ポイントをプリントにメモをとっていく。15回で教科書の内容をまとめたノートが完成する。毎回、確認のための小テストを行いそれが平常点となる。期末考査の得点と合わせて、100点満点で評価する。		
授業内容/Class outline/Con	講義形式とする。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校「生物基礎」(第一学習社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一章 生物の特徴 生物の多様性 生物の共通性と多様性の起源 生物の特性 細胞の多様性		
第2回	第一章 生物の特徴 細胞の構造にみられる共通性 代謝とATP ATPの構造と働き		
第3回	第一章 生物の特徴 葉緑体も構造と色素 光エネルギーの吸収 光合成の過程		
第4回	第一章 生物の特徴 ミトコンドリアと細胞質基質 呼吸の過程		
第5回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子の本体 DNAの構造		
第6回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝情報の複製と分配(・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)		
第7回	第二章 遺伝子とその働き タンパク質 転写と翻訳 タンパク質の合成		
第8回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子とゲノム 細胞内での遺伝子の発現		
第9回	第三章 生物の体内環境 恒常性とは 体液の種類 血液の成分と働き 酸素の運搬 血液凝固		
第10回	第三章 生物の体内環境 肝臓の働き 体液の濃度調節(・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節)		
第11回	第三章 生物の体内環境 魚類にみられる体液の調節 ほ乳動物にみられる体液の調節(腎臓の働き)		

第12回	第三章 生物の体内環境 免疫（・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法）
第13回	第三章 生物の体内環境 自律神経系と内分泌系（・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節）
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 生物の多様性とバイオーム    バイオームの形成過程    バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 生態系の成り立ち（食物連鎖と栄養段階）    物質循環とエネルギーの流れ（炭素、窒素の循環）    生態系のバランスと保全    自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015202	科目番号 / Subject code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎生物		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平倉 充		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	平倉 充		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	平倉 充		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10@yahoo.co.jp		
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Goal	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回、講義内容のプリントを準備する。教科書を用いて講義する。ポイントをプリントにメモをとっていく。15回で教科書の内容をまとめたノートが完成する。毎回、確認のための小テストを行いそれが平常点となる。期末考査の得点と合わせて、100点満点で評価する。		
授業内容/Class outline/Con	講義形式とする。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校「生物基礎」(第一学習社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一章 生物の特徴 生物の多様性 生物の共通性と多様性の起源 生物の特性 細胞の多様性		
第2回	第一章 生物の特徴 細胞の構造にみられる共通性 代謝とATP ATPの構造と働き		
第3回	第一章 生物の特徴 葉緑体も構造と色素 光エネルギーの吸収 光合成の過程		
第4回	第一章 生物の特徴 ミトコンドリアと細胞質基質 呼吸の過程		
第5回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子の本体 DNAの構造		
第6回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝情報の複製と分配(・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)		
第7回	第二章 遺伝子とその働き タンパク質 転写と翻訳 タンパク質の合成		
第8回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子とゲノム 細胞内での遺伝子の発現		
第9回	第三章 生物の体内環境 恒常性とは 体液の種類 血液の成分と働き 酸素の運搬 血液凝固		
第10回	第三章 生物の体内環境 肝臓の働き 体液の濃度調節(・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節)		
第11回	第三章 生物の体内環境 魚類にみられる体液の調節 ほ乳動物にみられる体液の調節(腎臓の働き)		

第12回	第三章 生物の体内環境 免疫（・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法）
第13回	第三章 生物の体内環境 自律神経系と内分泌系（・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節）
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 生物の多様性とバイオーム    バイオームの形成過程    バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 生態系の成り立ち（食物連鎖と栄養段階）    物質循環とエネルギーの流れ（炭素、窒素の循環）    生態系のバランスと保全    自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015203	科目番号 / Subject code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎生物		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平倉 充		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	平倉 充		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	平倉 充		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10@yahoo.co.jp		
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Goal	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回、講義内容のプリントを準備する。教科書を用いて講義する。ポイントをプリントにメモをとっていく。15回で教科書の内容をまとめたノートが完成する。毎回、確認のための小テストを行いそれが平常点となる。期末考査の得点と合わせて、100点満点で評価する。		
授業内容/Class outline/Con	講義形式とする。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校「生物基礎」(第一学習社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一章 生物の特徴 生物の多様性 生物の共通性と多様性の起源 生物の特性 細胞の多様性		
第2回	第一章 生物の特徴 細胞の構造にみられる共通性 代謝とATP ATPの構造と働き		
第3回	第一章 生物の特徴 葉緑体も構造と色素 光エネルギーの吸収 光合成の過程		
第4回	第一章 生物の特徴 ミトコンドリアと細胞質基質 呼吸の過程		
第5回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子の本体 DNAの構造		
第6回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝情報の複製と分配(・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)		
第7回	第二章 遺伝子とその働き タンパク質 転写と翻訳 タンパク質の合成		
第8回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子とゲノム 細胞内での遺伝子の発現		
第9回	第三章 生物の体内環境 恒常性とは 体液の種類 血液の成分と働き 酸素の運搬 血液凝固		
第10回	第三章 生物の体内環境 肝臓の働き 体液の濃度調節(・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節)		
第11回	第三章 生物の体内環境 魚類にみられる体液の調節 ほ乳動物にみられる体液の調節(腎臓の働き)		

第12回	第三章 生物の体内環境 免疫（・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法）
第13回	第三章 生物の体内環境 自律神経系と内分泌系（・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節）
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 生物の多様性とバイオーム    バイオームの形成過程    バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 生態系の成り立ち（食物連鎖と栄養段階）    物質循環とエネルギーの流れ（炭素、窒素の循環）    生態系のバランスと保全    自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015301	科目番号 / Subject code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎数学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田元 正明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田元 正明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田元 正明		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟23		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学年		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	<自宅> 0956-488620 <携帯> 090-7921-8332		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校で学ぶ「数学」の内容を、教科書や参考書などから重要な公式や要点を抜き出してプリントし、講義の中で解説を加えていく。また、解説した内容に関する演習問題を解くことで公式を身につけ活用できるようになり、大学で学ぶ数学に対応できるようにする。		
授業到達目標/Goal	高等学校で既に身につけておくべき「数学」の内容を理解し、経済学部や教育学部など各学部で学ぶ数学に対応できるようにする。		
授業方法(学習指導法) / Method	テキストは使用せず、高等学校で使用する教科書や参考書などから抜き出した重要な公式や要点をまとめたプリントを毎時間配布し、それに沿って解説を加えていく。また、解説した内容に関する演習問題を解くことにより、公式を覚えそれを活用できるようにしていく。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	1時間1時間の授業を大切に、予習・復習を確実にを行う。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	毎時間配布するプリント(「数学」の教科書や参考書などから抜き出した重要な公式や要点をまとめたもの)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間テストと期末テストの平均点、毎時間の受講態度、課題の提出状況などを総合的に判断して評価する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	15回の講義に毎時間出席すること。予習・復習を必ず行うこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	高等学校で「数学」を履修していない学生や数学があまり得意でない学生は、受講することを勧めます。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	整式と分数式の計算 1. 整式の除法 2. 約数と倍数 3. 分数式の計算		
第2回	式と証明 1. 恒等式 2. 等式の証明 3. 不等式の証明		
第3回	式と証明 3. 不等式の証明 複素数と方程式 1. 複素数 2. 二次方程式		
第4回	複素数と方程式 3. 二次方程式の解と係数の関係 4. 二次方程式の実数解の符号		
第5回	複素数と方程式 5. 二次方程式の実数解と実数kの大小 6. 剰余の定理と因数定理		
第6回	複素数と方程式 7. 高次方程式 8. 三次方程式の解と係数の関係 9. 三次式の因数分解		
第7回	図形と方程式 1. 平面上の点 2. 直線の方程式		
第8回	・前期中間テスト(第1回から第7回までの範囲)		
第9回	指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数		
第10回	指数関数 3. 指数方程式・指数不等式 対数関数 1. 対数の定義 2. 対数の性質		
第11回	対数関数 3. 対数関数 4. 対数方程式・対数不等式		
第12回	微分法 1. 関数の極限 2. 平均変化率と微分係数		
第13回	微分法 3. 導関数・微分法の公式 4. 接線の方程式		
第14回	微分法 5. 関数の増減と極値 6. 高次関数のグラフ		
第15回	微分法 7. 三次関数の性質 8. 最大・最小 9. 方程式の実数解の個数		
第16回	・前期期末テスト(第9回から第15回までの範囲)		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015302	科目番号 / Subject code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎数学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田元 正明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田元 正明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田元 正明		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟23		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学年		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	<自宅> 0956-48-8620 <携帯> 090-7921-8332		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校で学ぶ「数学」の内容を、教科書や参考書などから重要な公式や要点を抜き出してプリントし、講義の中で解説を加えていく。また、解説した内容に関する演習問題を解くことで公式を身につけ活用できるようになり、大学で学ぶ数学に対応できるようにする。		
授業到達目標/Goal	高等学校で既に身につけておくべき「数学」の内容を理解し、経済学部や教育学部など各学部で学ぶ数学に対応できるようにする。		
授業方法(学習指導法) / Method	テキストは使用せず、高等学校で使用する教科書や参考書などから抜き出した重要な公式や要点をまとめたプリントを毎時間配布し、それに沿って解説を加えていく。また、解説した内容に関する演習問題を解くことにより、公式を覚えそれを活用できるようにしていく。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	1時間1時間の授業を大切に、予習・復習を確実にやる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	毎時間配布するプリント(「数学」の教科書や参考書などから抜き出した重要な公式や要点をまとめたもの)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間テストと期末テストの平均点、毎時間の受講態度、課題の提出状況などを総合的に判断して評価する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	15回の講義に毎時間出席すること。予習・復習を必ず行うこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	高等学校で「数学」を履修していない学生や数学があまり得意でない学生は受講することを勧めます。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	整式と分数式の計算 1. 整式の除法 2. 約数と倍数 3. 分数式の計算		
第2回	式と証明 1. 恒等式 2. 等式の証明 3. 不等式の証明		
第3回	式と証明 3. 不等式の証明 複素数と方程式 1. 複素数 2. 二次方程式		
第4回	複素数と方程式 3. 二次方程式の解と係数の関係 4. 二次方程式の実数解の符号		
第5回	複素数と方程式 5. 二次方程式の実数解と実数kの大小 6. 剰余の定理と因数定理		
第6回	複素数と方程式 7. 高次方程式 8. 三次方程式の解と係数の関係 9. 三次式の因数分解		
第7回	図形と方程式 1. 平面上の点 2. 直線の方程式		
第8回	・前期中間テスト(第1回から第7回までの範囲)		
第9回	指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数		
第10回	指数関数 3. 指数方程式・指数不等式 対数関数 1. 対数の定義 2. 対数の性質		
第11回	対数関数 3. 対数関数 4. 対数方程式・対数不等式		
第12回	微分法 1. 関数の極限 2. 平均変化率と微分係数		
第13回	微分法 3. 導関数・微分法の公式 4. 接線の方程式		
第14回	微分法 5. 関数の増減と極値 6. 高次関数のグラフ		
第15回	微分法 7. 三次関数の性質 8. 最大・最小 9. 方程式の実数解の個数		
第16回	・前期期末テスト(第9回から第15回までの範囲)		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015303	科目番号 / Subject code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎数学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田元 正明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田元 正明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田元 正明		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育 B 棟34		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学年		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	<自宅> 0956-48-8620 <携帯> 090-7921-8332		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校で学ぶ「素数」の内容を、教科書や参考書などから重要な公式や要点を抜き出してプリントし、講義の中で解説を加えていく。また、解説した内容に関する演習問題を解くことで公式を身につけ活用できるようになり、大学で学ぶ数学に対応できるようにする。		
授業到達目標/Goal	高等学校で既に身につけておくべき「数学」の内容を理解し、経済学部や教育学部など各学部で学ぶ数学に対応できるようにする。		
授業方法(学習指導法) / Method	テキストは使用せず、高等学校で使用する教科書や参考書などから抜き出した重要な公式や要点をまとめたプリントを毎時間配布し、それに沿って解説を加えていく。また、解説した内容に関する演習問題を解くことにより、公式を覚えそれを活用できるようにしていく。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	1時間1時間の授業を大切に、予習・復習を確実にやる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	毎時間配布するプリント(「数学」の教科書や参考書などから抜き出した重要な公式や要点をまとめたもの)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間テストと期末テストの平均点、毎時間の受講態度、課題の提出状況などを総合的に判断して評価する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	15回の講義に毎時間出席すること。予習・復習を必ず行うこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	高等学校で「数学」を履修していない学生や数学があまり得意でない学生は受講することを勧めます。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	整式と分数式の計算 1. 整式の除法 2. 約数と倍数 3. 分数式の計算		
第2回	式と証明 1. 恒等式 2. 等式の証明 3. 不等式の証明		
第3回	式と証明 3. 不等式の証明 複素数と方程式 1. 複素数 2. 二次方程式		
第4回	複素数と方程式 3. 二次方程式の解と係数の関係 4. 二次方程式の実数解の符号		
第5回	複素数と方程式 5. 二次方程式の実数解と実数 k の大小 6. 剰余の定理と因数定理		
第6回	複素数と方程式 7. 高次方程式 8. 三次方程式の解と係数の関係 9. 三次式の因数分解		
第7回	図形と方程式 1. 平面上の点 2. 直線の方程式		
第8回	・後期中間テスト(第1回から第7回までの範囲)		
第9回	指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数		
第10回	指数関数 3. 指数方程式・指数不等式 対数関数 1. 対数の定義 2. 対数の性質		
第11回	対数関数 3. 対数関数 4. 対数方程式・対数不等式		
第12回	微分法 1. 関数の極限 2. 平均変化率と微分係数		
第13回	微分法 3. 導関数・微分法の公式 4. 接線の方程式		
第14回	微分法 5. 関数の増減と極値 6. 高次関数のグラフ		
第15回	微分法 7. 三次関数の性質 8. 最大・最小 9. 方程式の実数解の個数		
第16回	・後期期末テスト(第9回から第15回までの範囲)		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015401	科目番号 / Subject code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎英語		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	金子 修司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	金子 修司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	金子 修司		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skaneko@mxm.cncm.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 15時45分 ~ 16時05分 非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力を養成することをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を身につける。これらの基礎力に基づき、パラグラフリーディング・精読演習を通して読解の基礎力養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶことにより、大学英語へ繋げる。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようにする。</p> <p>(2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を精読し、内容を理解できるようにする。</p> <p>(3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話し手の意図を理解できるようにする。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>演習および講義形式とする。</p> <p>(1) 基本構文習熟のために問題集を使用する。加えてプリント教材等を使用し応用力を習得する。また、熟語、語法、基本文法の運用力を身につける。</p> <p>(2) 英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎を学び、文章の概要と情報を把握する力を習得する。</p> <p>(3) 学習内容について、毎時小テストを行い定着を図る。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>(1) 授業最初に復習のための小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度をみるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。</p> <p>(2) 英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を図る。</p> <p>(3) パラグラフリーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把握の方法を習得する。</p> <p>使用教材： 英語構文問題集 基本構文・文法プリント教材 演習英文プリント：読解力養成 パラグラフリーディングの基礎基本教材プリント 辞書使用</p>		
キーワード/Key word	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語構文(2週間完成)(日英社) (学内書店にて販売) 頻出構文、頻出文法事項+長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業には持参すること。授業用ノートを持参すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	(1) 定期考査 60% (2) 中間テスト 30% (1) 授業中の発表(小テストを含む) 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(授業の進め方について) 英語基礎テスト(Evaluation Test)を実施する。 (1) Itを中心とした構文		
第2回	(2) 助動詞を使った構文 プリント教材(パラグラフの基本的な構造)		
第3回	(3) 不定詞を使った構文 PASSAGE-1(プリント)		
第4回	(4) 動名詞を使った構文 PASSAGE-2(プリント)		

第5回	( 5 ) 分詞を使った構文 PASSAGE-3 ( プリント )
第6回	( 6 ) 第5文型の構文 PASSAGE-4 ( プリント )
第7回	( 7 ) 比較構文 PASSAGE-5 ( プリント )
第8回	中間テスト ( 8 ) 時を表す構文
第9回	( 9 ) 関係詞を使った構文 PASSAGE-6 ( プリント )
第10回	( 10 ) 条件・仮定を表す構文 PASSAGE-7 ( プリント )
第11回	( 11 ) 譲歩を表す構文 PASSAGE-8 ( プリント )
第12回	( 12 ) 相関関係を表す構文 PASSAGE-9 ( プリント )
第13回	( 13 ) 否定構文 PASSAGE-10 ( プリント )
第14回	( 14 ) 無生物主語と名詞構文 PASSAGE-11 ( プリント )
第15回	( 15 ) その他の構文 ( プリント ) PASSAGE-12 ( プリント )
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015402	科目番号 / Subject code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎英語		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	金子 修司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	金子 修司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	金子 修司		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	skaneko@mxm.cncm.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 15時45分 ~ 16時05分 非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力を養成することをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を身につける。これらの基礎力に基づき、パラグラフリーディング・精読演習を通して読解の基礎力養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶことにより、大学英語へ繋げる。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようにする。</p> <p>(2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を精読し、内容を理解できるようにする。</p> <p>(3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話し手の意図を理解できるようにする。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>演習および講義形式とする。</p> <p>(1) 基本構文習熟のために問題集を使用する。加えてプリント教材等を使用し応用力を習得する。また、熟語、語法、基本文法の運用力を身につける。</p> <p>(2) 英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎を学び、文章の概要と情報を把握する力を習得する。</p> <p>(3) 学習内容について、毎時小テストを行い定着を図る。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	<p>(1) 授業最初に復習のための小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度をみるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。</p> <p>(2) 英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を図る。</p> <p>(3) パラグラフリーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把握の方法を習得する。</p> <p>使用教材：英語構文問題集 基本構文・文法プリント教材 演習英文プリント：読解力養成 パラグラフリーディングの基礎基本教材プリント 辞書使用</p>		
キーワード / Key word	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	英語構文(2週間完成)(日英社) (学内書店にて販売) 頻出構文、頻出文法事項+長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業には持参すること。授業用ノートを持参すること。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	(1) 定期考査 60% (2) 中間テスト 30% (1) 授業中の発表(小テストを含む) 10%		
受講要件(履修条件) / Requirements	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(授業の進め方について) 英語基礎テスト(Evaluation Test)を実施する。 (1) Itを中心とした構文		
第2回	(2) 助動詞を使った構文 プリント教材(パラグラフの基本的な構造)		
第3回	(3) 不定詞を使った構文 PASSAGE-1(プリント)		
第4回	(4) 動名詞を使った構文 PASSAGE-2(プリント)		

第5回	( 5 ) 分詞を使った構文 PASSAGE-3 ( プリント )
第6回	( 6 ) 第5文型の構文 PASSAGE-4 ( プリント )
第7回	( 7 ) 比較構文 PASSAGE-5 ( プリント )
第8回	中間テスト ( 8 ) 時を表す構文
第9回	( 9 ) 関係詞を使った構文 PASSAGE-6 ( プリント )
第10回	( 10 ) 条件・仮定を表す構文 PASSAGE-7 ( プリント )
第11回	( 11 ) 譲歩を表す構文 PASSAGE-8 ( プリント )
第12回	( 12 ) 相関関係を表す構文 PASSAGE-9 ( プリント )
第13回	( 13 ) 否定構文 PASSAGE-10 ( プリント )
第14回	( 14 ) 無生物主語と名詞構文 PASSAGE-11 ( プリント )
第15回	( 15 ) その他の構文 ( プリント ) PASSAGE-12 ( プリント )
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588015403	科目番号 / Subject code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	基礎英語		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	金子 修司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	金子 修司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	金子 修司		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	skaneko@mxm.cncm.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 15時45分 ~ 16時05分 非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力を養成することをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を身につける。これらの基礎力に基づき、パラグラフリーディング・精読演習を通して読解の基礎力養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶことにより、大学英語へ繋げる。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようにする。</p> <p>(2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を精読し、内容を理解できるようにする。</p> <p>(3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話し手の意図を理解できるようにする。</p>		
授業方法 (学習指導法) / Method	<p>演習および講義形式とする。</p> <p>(1) 基本構文習熟のために問題集を使用する。加えてプリント教材等を使用し応用力を習得する。また、熟語、語法、基本文法の運用力を身につける。</p> <p>(2) 英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎を学び、文章の概要と情報を把握する力を習得する。</p> <p>(3) 学習内容について、毎時小テストを行い定着を図る。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	<p>(1) 授業最初に復習のための小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度をみるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。</p> <p>(2) 英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を図る。</p> <p>(3) パラグラフリーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把握の方法を習得する。</p> <p>使用教材： 英語構文問題集 基本構文・文法プリント教材 演習英文プリント：読解力養成 パラグラフリーディングの基礎基本教材プリント 辞書使用</p>		
キーワード / Key word	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	英語構文 (2週間完成) (日英社) (学内書店にて販売) 頻出構文、頻出文法事項 + 長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業には持参すること。授業用ノートを持参すること。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	(1) 定期考査 60% (2) 中間テスト 30% (1) 授業中の発表 (小テストを含む) 10%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション (授業の進め方について) 英語基礎テスト (Evaluation Test) を実施する。 (1) It を中心とした構文		
第2回	(2) 助動詞を使った構文 プリント教材 (パラグラフの基本的な構造)		
第3回	(3) 不定詞を使った構文 PASSAGE-1 (プリント)		
第4回	(4) 動名詞を使った構文 PASSAGE-2 (プリント)		

第5回	( 5 ) 分詞を使った構文    PASSAGE-3 ( プリント )
第6回	( 6 ) 第5文型の構文    PASSAGE- 4 ( プリント )
第7回	( 7 ) 比較構文    PASSAGE- 5 ( プリント )
第8回	中間テスト ( 8 ) 時を表す構文
第9回	( 9 ) 関係詞を使った構文    PASSAGE-6 ( プリント )
第10回	( 10 ) 条件・仮定を表す構文    PASSAGE- 7 ( プリント )
第11回	( 11 ) 譲歩を表す構文    PASSAGE-8 ( プリント )
第12回	( 12 ) 相関関係を表す構文    PASSAGE-9 ( プリント )
第13回	( 13 ) 否定構文    PASSAGE-10 ( プリント )
第14回	( 14 ) 無生物主語と名詞構文    PASSAGE-11 ( プリント )
第15回	( 15 ) その他の構文 ( プリント )    PASSAGE-12 ( プリント )
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150588020901	科目番号 / Subject code	05880209
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	English for Specific Purposes (A)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育 B 棟34		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部対象		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 水3 木4		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、TOEICに特化した形での演習を徹底的に行うことにより、TOEIC形式に慣れ、得点のアップに必要なスキルを教授する。ただし、単なるTOEIC対策ではなく、将来的に英語力を絶えず伸ばせるような内容の授業を行い、学生の専門分野で役立つリスニングやリーディング力の養成も行う。		
授業到達目標/Goal	最初の授業で模擬のTOEICを受けてもらうが、7月の全学TOEICまでに、各自100点アップできるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行う。授業の前半では、CALL機能を用いて、いろいろなタイプのTOEICリスニング問題に挑戦し、正確に聞き取れるように訓練する。後半では、TOEICによく出る語彙の学習やリーディング問題や文法問題に挑戦し、ポイントを押さえながら指導する。		
授業内容/Class outline/Con	授業は、前半はCDを利用して、徹底的にリスニングを鍛えます。後半は、プリントやテキストを利用して、解法のコツを教授するとともに、多様な読みに対応できるように、テキストをたくさん読みます。また、実践問題をたくさん解き、パターンに慣れるようにします。		
キーワード/Key word	TOEIC , スキミング、スキヤニング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): 最初の模擬試験の後指示します。1,800円程度の予定です。  教材 : プリント教材 必要に応じて毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 14回目、15回目の模擬試験60%、小テスト20%、 授業中の発表20%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。		
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材(3 Step やパワーワーズ)やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション TOEIC 模擬テスト リスニング練習、テキストを用いた読解練習		
第2回	TOEIC 模擬 テスト リスニング練習、テキストを用いた読解練習		
第3回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習		
第4回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習		



第5回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第6回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第7回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第8回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第9回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第10回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第11回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第12回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第13回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第14回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第15回	TOEIC模擬試験と解答
第16回	TOEIC模擬試験と解答

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150588021001	科目番号 / Subject code	05880210
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	English for Specific Purposes (B)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	CONNOR SUZY		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	CONNOR SUZY		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	CONNOR SUZY		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育 B 棟15		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mailsuzyinenglish@gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Before and after class by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	The aims of this course are to activate the English acquired thus far and to continue to improve TOEIC performance with particular focus on listening practice.		
授業到達目標/Goal	Students will be more confident in TOEIC test-taking. Students who continue with English classes will further increase their confidence and ability to communicate more effectively in English.		
授業方法 (学習指導法) /Method	The course is based on a text which focuses on TOEIC practice. As overall English proficiency improves scores, plenty of in-class English use is most important! Supplementary materials will be used as needed.		
授業内容/Class outline/Con	<p>Note: Subject to Change!!</p> <p>1-Course Introduction Unit 8 Part 1</p> <p>2-Unit 9 Part 2</p> <p>3-Unit 10 Part 3</p> <p>4-Unit 11 Part 4</p> <p>5-Unit 12 Part 5</p> <p>6-Unit 13 Part 6</p> <p>7-Unit 14 Part 7</p> <p>8-Unit 15 Part 1</p> <p>9-Unit 16 Part 2</p> <p>10-Unit 17 Part 3</p> <p>11-Unit 18 Part 4</p> <p>12-Unit 19 Part 5</p> <p>13-Unit 20 Part 6</p> <p>14-Unit 21 Part 7</p> <p>15-Quiz</p>		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>1. Tactics for TOEIC Listening and Reading Test</p> <p>2. A comprehensive bilingual dictionary of your choice (MUST be brought to class EVERYDAY)</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Class work: 30% Homework: 30% Tests and Quizzes: 40%		
学生へのメッセージ/Message for students	<p>Full details will be given on the first day of class.</p> <p>Attendance and participation in class are mandatory!</p> <p>ALL STUDENTS MUST HAVE A NEW TEXTBOOK!!!</p>		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150588021101	科目番号 / Subject code	05880211
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	English for Specific Purposes (C)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古村 由美子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古村 由美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古村 由美子		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	留学を希望する学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fukumura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	本館531号室(片淵)		
担当教員TEL/Tel	:095-820-6394		
担当教員オフィスアワー/Office hours	emailにて予約後、来室してください		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	将来留学するために必要なIELTSのテスト内容を理解し、問題形式に慣れる。他のテストとの違いを理解する。IELTS初心者のための授業。		
授業到達目標/Goal	出題される内容は物理学を中心とする科学工学的な分野、生物学を中心とする生命科学的分野、人文学や社会科学を中心とする分野など多岐にわたっているため、広範囲な語彙の習得を目指し、IELTSのリスニング、リーディングで得点を伸ばすことに焦点をあてるが、スピーキング、ライティングの練習も時間が許せば行う。		
授業方法(学習指導法)/Method	テキストに従って、各スキル別の問題傾向を理解し、模擬テストを受験し、復習を行う。		
授業内容/Class outline/Con	テキストに従って、それぞれのスキルについて説明を行った後、各スキルを伸ばすための練習を行う。 模擬試験と復習を繰り返す。		
キーワード/Key word	IELTS, Listening, Reading, vocabulary		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『改訂版 パーフェクト攻略IELTS』宮前一廣著、テイエス企画		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業参加態度・出席：60%、E-learning学習：20%期末テスト：20% 5回以上欠席した場合は単位修得ができない。		
受講要件(履修条件)/Requirements	Homework (E-learning 学習) を必ず行うこと		
学生へのメッセージ/Message for students	留学希望者対象。留学を希望している大学に必要な英語テストの種類を調べてから受講してください。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150588021301	科目番号 / Subject code	05880213
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	English for Specific Purposes (D)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	TOM DESI FAYMIN		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	TOM DESI FAYMIN		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	TOM DESI FAYMIN, FRITZ ROBINSON ENRIQUE		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟12		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	desi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	Katafuchi - Hon Kan 607		
担当教員TEL/Tel	095-820-6395		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Tuesday, Thursday 16:15-17:00, or by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	This course is an intensive English language study program. Each day of the course there are 3 hours of lecture and 2-3 hours of homework. We will focus on communication skill, but other skills like reading, writing, grammar and vocabulary building will also be studied. Lastly, some of the course will focus on IELTS practice and test taking		
授業到達目標/Goal	Improve English Communication skill.		
授業方法 (学習指導法) /Method	Intensive study, in-class activities and 3 day/2 night retreat.		
授業内容/Class outline/Con	Day 1 - Class 1 & 2 Day 2 - Class 3 & 4 Day 3 - Class 5 & 6 Day 4 - No formal class Day 5 - Class 7 & 8 Day 6 - Class 9 & 10 Day 7 - Class 11 & 12 Day 8 - Class 13 & 14 Day 9 - Class 15 & final exam		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Materials will be provided.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Not yet decided.		
受講要件 (履修条件) /Requirements	Students must be able to attend class everyday for 9 days without a break. Also, students will go on a short trip to Isahaya for 2 nights and 3 days.		
学生へのメッセージ/Message for students	Enjoy studying and using English		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150590090501	科目番号 / Subject code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	平和講座		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清, 篠崎 正人, 安部 俊二, 黒滝 直弘		
科目分類 / Class type	総合科学科目, A科目群 総合科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育B棟44		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部 1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部 4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜午後4 - 5時。在室ならいつでも可。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。」本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標 / Goal	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントなどを用意し、講義を行う。講師によっては、ビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業内容 / Class outline/Con	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
キーワード / Key word	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド・DVD・ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は高橋・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	受講要件は特にない。		
備考 (URL) / Remarks(URL)	<a href="http://todakiyosi.web.fc2.com/">http://todakiyosi.web.fc2.com/</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争・暴力と平和をめぐる世界と日本の動向に関心を持ってほしい。「イスラム国」邦人人質事件などの問題にも関心に向けてほしい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月8日 戸田 ナガサキから平和学する。原爆の非人道性と違法性(戦争犯罪)。核兵器と核発電。		
第2回	4月15日 戸田 第二次大戦におけるドイツ、日本、米国の戦争犯罪の比較		
第3回	4月22日 戸田 米国の戦争犯罪 原爆、ベトナム枯葉剤作戦、劣化ウラン弾		
第4回	5月13日 安部俊二 近代日本の教育(小学校)		
第5回	5月20日 安部 近代日本の教育(大学)		
第6回	5月27日 安部 近代日本の教育(軍隊1)		
第7回	6月3日 安部 近代日本の教育(軍隊2)		
第8回	6月10日 川野浩一 私の被爆体験		
第9回	6月17日 山崎年子 二重被爆の父と生きる		
第10回	6月24日 西岡由香 世界から見たナガサキ 90日間世界一周		
第11回	7月1日 西岡 いのちを守るまちづくり		

第12回	7月8日 篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保1
第13回	7月15日 篠崎 有事体制と長崎・佐世保2
第14回	7月22日 黒滝直弘 健康格差について1
第15回	7月29日 黒滝 健康格差について2
第16回	定期試験は行いません

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150590090502	科目番号 / Subject code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	平和講座		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清, 関口 達夫, 国武 雅子, 富塚 明		
科目分類 / Class type	総合科学科目, A科目群 総合科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部 1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4 - 5時。在室のときはいつでも可。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。」本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標/Goal	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントなどを用意し、講義を行う。講師によっては、ビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業内容/Class outline/Con	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれのテーマを掲げて講義する。		
キーワード/Key word	昭和史、戦争、暴力、平和、原爆、原発、劣化ウラン、枯葉剤、イラク戦争、構造的暴力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド・DVD・ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は高橋・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	受講要件は特になし。		
備考 (URL) /Remarks(URL)	<a href="http://todakiyosi.web.fc2.com/">http://todakiyosi.web.fc2.com/</a>		
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争・暴力と平和をめぐる世界と日本の動向に関心を持ってほしい。「イスラム国」人質事件などの問題にも関心に向けてほしい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月30日 戸田 ナガサキから平和学する 原爆の非人道性と違法性(戦争犯罪)		
第2回	10月7日 藤田祐幸 福島第一原発事故		
第3回	10月14日 藤田 日本の政策と潜在的核武装		
第4回	10月21日 国武雅子 女性の戦争協力		
第5回	10月28日 国武 銃後の生活		
第6回	11月4日 国武 日本軍「慰安婦」問題1		
第7回	11月11日 国武 日本軍「慰安婦」問題2		
第8回	11月18日 小峰秀孝 私の被爆・被爆後体験		
第9回	11月25日 山崎年子 二重被爆の父と生きる		
第10回	12月2日 富塚明 核兵器廃絶運動と原爆症認定裁判		
第11回	12月9日 富塚 日米関係を考える		

第12回	12月16日 戸田 第二次大戦におけるドイツ、日本、米国の戦争犯罪の比較
第13回	1月6日 戸田 米国の戦争犯罪 原爆、ベトナム枯葉作戦、劣化ウラン弾
第14回	1月13日 関口達夫 長崎原爆を報道する 1
第15回	1月20日 関口 長崎原爆を報道する 2 集団的自衛権問題
第16回	定期試験は行いません。



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150590090601	科目番号 / Subject code	05900906
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	キャリア概論		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	深尾 典男		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	深尾 典男		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	深尾 典男, 坂巻 正伸, 川崎 昌子		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟11		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fukao@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	広報戦略本部(事務局棟2F)		
担当教員TEL/Tel	819-2008		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9:30 - 19:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己と社会の関係について学ぶ</li> <li>・社会参画のために必要とされるスキルについて学ぶ</li> <li>・大学での学びが社会人としての素養にどのように関係するかを理解する</li> <li>・勤労観と職業観を育み、キャリアデザインのための考え方と行動につなげるための手法を身に着ける。</li> </ul>		
授業到達目標/Goal	社会参画に対する意識を高めることを授業の狙いとする、授業を通して自らのキャリアデザインについて考えると同時に、学士課程教育で身につけるべき素養についての目標設定を行う。		
授業方法(学習指導法)/Method	配布するレジュメに基づいて授業を進める。適宜討論の時間を設けると同時に、受講生は授業内で発表を行う。多面的な考え方、基本的な素養を身に着けるために、ゲストスピーカーも招聘する予定。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	キャリア、社会人基礎力、コミュニケーション、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使いません。授業計画に沿ってパワーポイント等を使用して講義を行います。関係する資料等については、eラーニングシステムを通じて配布することもあります。参考データ、資料は随時提示します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席状況と授業態度、予習・復習の状況、レポートの提出状況および内容を総合的に評価します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全講義に出席できることを受講要件とします。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	キャリア概論の概要と狙い		
第2回	社会理解 1 / 働くことの意味		
第3回	社会理解 2 / 社会の中にはどのような組織があるか?		
第4回	社会理解 3 / 組織のなかでどのように役割を果たすか?		
第5回	社会参画で求められる素養 1 / 「前に踏み出す力」と「考え抜く力」		
第6回	社会参画で求められる素養 2 / 「チームで働く力」		
第7回	社会参画で求められる素養 3 / 社会人基礎力の具体事例 1		
第8回	社会参画で求められる素養 4 / 社会人基礎力の具体事例 2		
第9回	能力を高める 1 / 社会参画のための具体的な能力の総括		
第10回	能力を高める 2 / 文章表現の基礎		
第11回	能力を高める 3 / コミュニケーションの基礎		
第12回	能力を高める 4 / プレゼンテーションの基礎		
第13回	キャリアプランの発表 1 / プレゼンの採点		
第14回	キャリアプランの発表 2 / プレゼンの採点		
第15回	キャリア概論総括 / 大学の学びと社会参画		
第16回			